

第 19 回
市民アンケート調査報告書 概要版
(令和 5 年度)

前 橋 市

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査の内容	2
3. 調査の方法	2
4. 調査結果の見方	2
5. 調査票回収結果	3
6. 回答者属性	4
II. 項目別調査結果	6
1. 回答者属性	7
2. 住みやすさ	8
3. 幸福度（Well-Being）	16
4. 公共交通・自転車の利用環境	17
5. 産業振興・農業施策	19
6. 環境との共生	22
7. 健康・福祉・子育て	23
8. 教育・文化	31
9. 景観・緑に関すること	32
10. 移住促進	34
11. 市民生活の安全	35
12. 情報化	35

I . 調査の概要

1. 調査の目的

市民アンケートは、市民との協働のまちづくりを推進することを目的に、市民の多様な意識や要望を把握し、今後の行政運営の基礎資料とするため実施している。

2. 調査の内容

- ・ 回答者について
- ・ 住みやすさ
- ・ 幸福度 (Well-Being)
- ・ 公共交通・自転車の利用環境
- ・ 産業振興・農業施策
- ・ 環境との共生
- ・ 健康・福祉・子育て
- ・ 教育・文化
- ・ 景観・緑に関すること
- ・ 移住促進
- ・ 市民生活の安全
- ・ 情報化
- ・ 自由意見

3. 調査の方法

調査地域	前橋市全域
調査対象	15 歳以上の市民
調査対象者数	5,500 人 【内訳】 ①市民 5,000 人 ②本市と包括連携協定等を結んでいる企業・大学等に所属している市民 500 人
抽出方法	①住民基本台帳から無作為に抽出 ②企業・大学等 18 団体に調査票をまとめて送付
調査方法	郵送による調査票の配付、郵送と Web による調査票の回収
調査基準日	令和 5 年 10 月 1 日
調査期間	令和 5 年 11 月 27 日～令和 5 年 12 月 22 日 令和 5 年 12 月 25 日到着分までを集計対象としている

4. 調査結果の見方

* 本調査では、各設問における無回答を含めた有効回答数 3,052 (①市民 2,723 と②本市と包括連携協定等を結んでいる企業・大学等に所属している市民 329 の合計) を基数として回答割合を算出している。また、問 1、問 2、問 4～問 9 に記載の「包括連携協定等を結んでいる企業・大学等に所属している市民の回答」については有効回答数 329 (②本市と包括連携協定等を結んでいる企業・大学等に所属している市民) を基数として回答割合を算出している。

* 回答割合については、小数点第 2 位で四捨五入し、小数点第 1 位までを表示している。このため、単一回答の設問における全体の合計割合は 100.0%にならない場合がある。

* また、複数の選択肢 (カテゴリ) を合計した回答割合を記載する場合には、それぞれの回答割合、即ち、小数点第 2 位で四捨五入し、小数点第 1 位までを表示したものを合計しているため、件数の合計値から算出される回答割合と一致しない場合がある。

* n 数が 10 未満の項目については、コメントを割愛している。

5. 調査票回収結果

(1) 回収状況

	対象者数(人)	回収者数(人)	回収率(%)	郵送 回答者数(人)	WEB 回答者数(人)
①市民	5,000	2,723	54.5	1,945	778
②本市と包括連携協定等を結んでいる 企業・大学等に所属している市民	500	329	65.8	114	215
合計	5,500	3,052	55.5	2,059	993

(2) 経年調査結果

	対象者数(人)	回収者数(人)	回収率(%)	郵送 回答者数(人)	WEB 回答者数(人)
今回(令和5年12月実施)	5,500	3,052	55.5	2,059	993
前回(令和元年11月実施)	5,000	2,715	54.3	2,368	347

(3) 性別・年代別・地区別回収状況

【①市民 5,000人】

		対象者数(人)	回収者数(人)	回収率(%)			対象者数(人)	回収者数(人)	回収率(%)	
全体		5,000	2,723	54.5	小 地 区 別	本 庁 管 内	北部	169	92	54.4
性 別	男性	2,497	1,149	46.0			東部	138	83	60.1
	女性	2,503	1,526	61.0			中央部	107	57	53.3
	その他		6				南部	408	215	52.7
	無回答		42				上川淵地区	365	192	52.6
	年 代 別	10歳代(15歳～)	229	102		44.5	下川淵地区	143	79	55.2
20歳代		525	157	29.9		芳賀地区	134	74	55.2	
30歳代		596	259	43.5		桂萱地区	424	241	56.8	
40歳代		868	413	47.6		東地区	492	248	50.4	
50歳代		994	556	55.9		元総社地区	264	127	48.1	
60歳代		840	538	64.0		総社地区	198	111	56.1	
70歳以上		948	656	69.2		南橘地区	595	293	49.2	
無回答			42			清里地区	54	28	51.9	
地 区 別		本庁管内(旧市内)	822	447		54.4	永明地区	344	173	50.3
	上川淵地区・下川淵地区	508	271	53.3		城南地区	281	170	60.5	
	芳賀地区・南橘地区	729	367	50.3		大胡地区	267	122	45.7	
	桂萱地区・永明地区・城南地区	1,049	584	55.7		宮城地区	115	61	53.0	
	東地区・元総社地区・総社地区・清里地区	1,008	514	51.0		粕川地区	160	91	56.9	
	大胡地区・宮城地区・粕川地区・富士見地区	884	454	51.4		富士見地区	342	180	52.6	
	無回答		86			無回答		86		

【②本市と包括連携協定等を結んでいる企業・大学等に所属している市民 500 人】

			回収者数(人)				回収者数(人)
全体			329	小 地 区 別	本 庁 管 内	北部	19
性 別	男性	163	東部			10	
	女性	164	中央部			17	
	その他	1	南部			29	
	無回答	1	上川淵地区			20	
	年 代 別	10歳代(15歳～)	1		下川淵地区	6	
20歳代		58	芳賀地区		9		
30歳代		69	桂萱地区		21		
40歳代		57	東地区		37		
50歳代		99	元総社地区		25		
60歳代		42	総社地区		13		
70歳以上		1	南橋地区		60		
無回答		2	清里地区		5		
地 区 別	本庁管内（旧市内）	75	永明地区		10		
	上川淵地区・下川淵地区	26	城南地区		12		
	芳賀地区・南橋地区	69	大胡地区		11		
	桂萱地区・永明地区・城南地区	43	宮城地区		0		
	東地区・元総社地区・総社地区・清里地区	80	粕川地区		6		
	大胡地区・宮城地区・粕川地区・富士見地区	30	富士見地区		13		
	無回答	6	無回答		6		

6. 回答者属性

			回答者数(人)	割合(%)				回答者数(人)	割合(%)
全体			3,052	100.0	小 地 区 別	本 庁 管 内	北部	111	3.6
性 別	男性	1,312	43.0	東部			93	3.0	
	女性	1,690	55.4	中央部			74	2.4	
	その他	7	0.2	南部			244	8.0	
	無回答	43	1.4	上川淵地区			212	6.9	
	年 代 別	10歳代(15歳～)	103	3.4		下川淵地区	85	2.8	
20歳代		215	7.0	芳賀地区		83	2.7		
30歳代		328	10.7	桂萱地区		262	8.6		
40歳代		470	15.4	東地区		285	9.3		
50歳代		655	21.5	元総社地区		152	5.0		
60歳代		580	19.0	総社地区		124	4.1		
70歳以上		657	21.5	南橋地区		353	11.6		
無回答		44	1.4	清里地区		33	1.1		
地 区 別		本庁管内(旧市内)	522	17.1		永明地区	183	6.0	
	上川淵地区・下川淵地区	297	9.7	城南地区		182	6.0		
	芳賀地区・南橋地区	436	14.3	大胡地区		133	4.4		
	桂萱地区・永明地区・城南地区	627	20.5	宮城地区		61	2.0		
	東地区・元総社地区・総社地区・清里地区	594	19.5	粕川地区		97	3.2		
	大胡地区・宮城地区・粕川地区・富士見地区	484	15.9	富士見地区		193	6.3		
	無回答	92	3.0	無回答		92	3.0		

＜郵送回答・WEB 回答 内訳＞

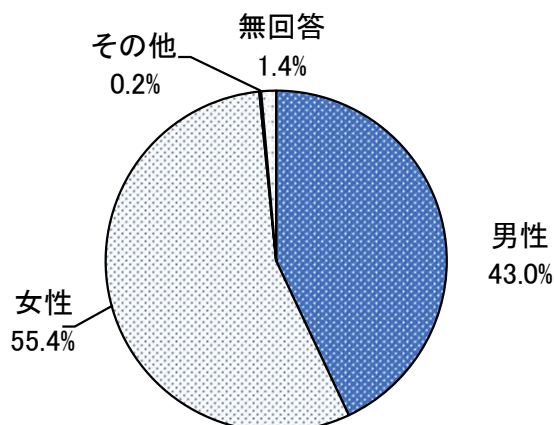
		郵送 回答者数(人)	WEB 回答者数(人)			郵送 回答者数(人)	WEB 回答者数(人)	
全体		2,059	993	小 地 区 別	本 庁 管 内	北部	68	43
性 別	男性	822	490			東部	64	29
	女性	1,195	495			中央部	39	35
	その他	2	5			南部	158	86
	無回答	40	3			上川淵地区	141	71
	年 代 別	10歳代(15歳～)	38		65	下川淵地区	56	29
20歳代		85	130		芳賀地区	59	24	
30歳代		133	195		桂萱地区	194	68	
40歳代		232	238		東地区	171	114	
50歳代		420	235		元総社地区	95	57	
60歳代		480	100		総社地区	75	49	
70歳以上		629	28		南橋地区	206	147	
無回答		42	2		清里地区	26	7	
地 区 別	本庁管内(旧市内)	329	193		永明地区	139	44	
	上川淵地区・下川淵地区	197	100		城南地区	135	47	
	芳賀地区・南橋地区	265	171		大胡地区	97	36	
	桂萱地区・永明地区・城南地区	468	159		宮城地区	45	16	
	東地区・元総社地区・総社地区・清里地区	367	227		粕川地区	77	20	
	大胡地区・宮城地区・粕川地区・富士見地区	359	125		富士見地区	140	53	
	無回答	74	18		無回答	74	18	

Ⅱ. 項目別調査結果

1. 回答者属性

性別（〇は1つ）

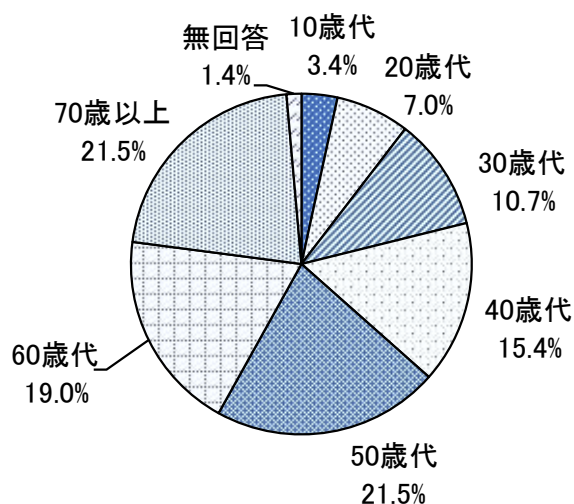
「男性」が43.0%、「女性」が55.4%となっている。



(n = 3052)

年齢（〇は1つ）

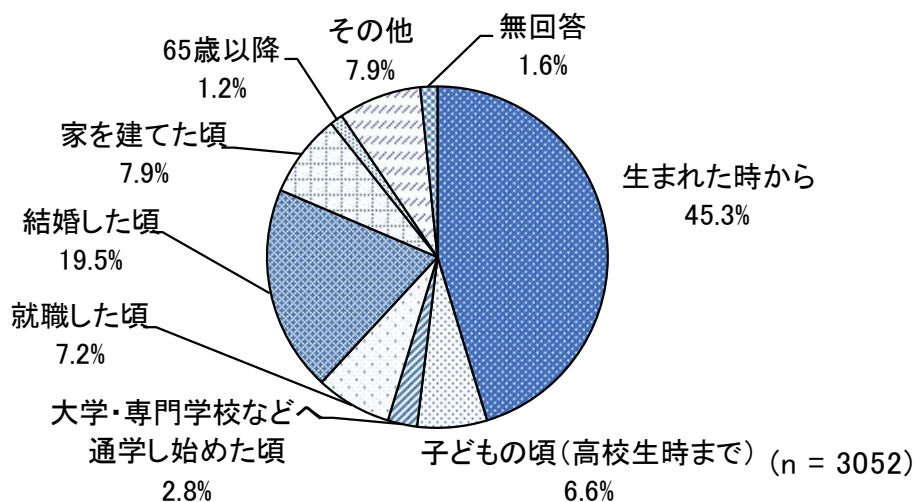
「50 歳代」及び「70 歳以上」が21.5%と最も高く、次いで「60 歳代」が19.0%となっている。



(n = 3052)

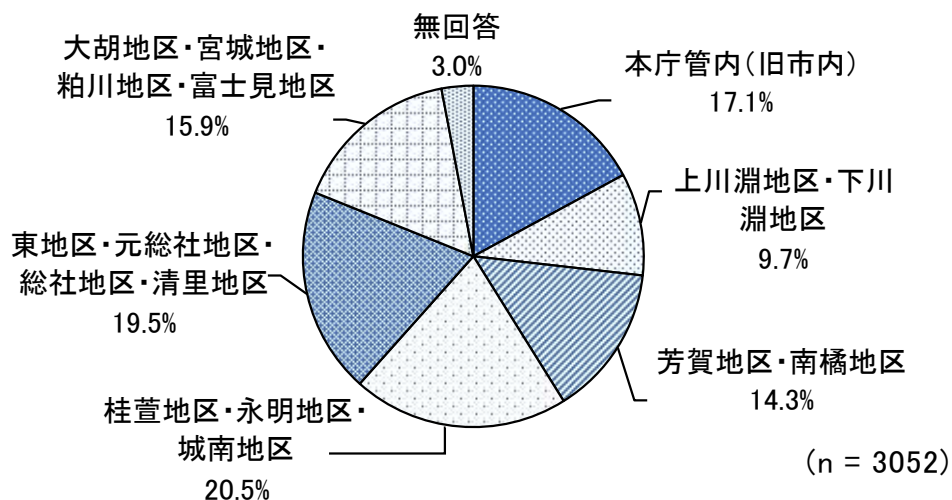
前橋市に住みはじめたのはいつからですか。（〇は1つ）

「生まれた時から」が45.3%と最も高く、次いで「結婚した頃」が19.5%、「家を建てた頃」及び「その他」が7.9%となっている。



お住まい

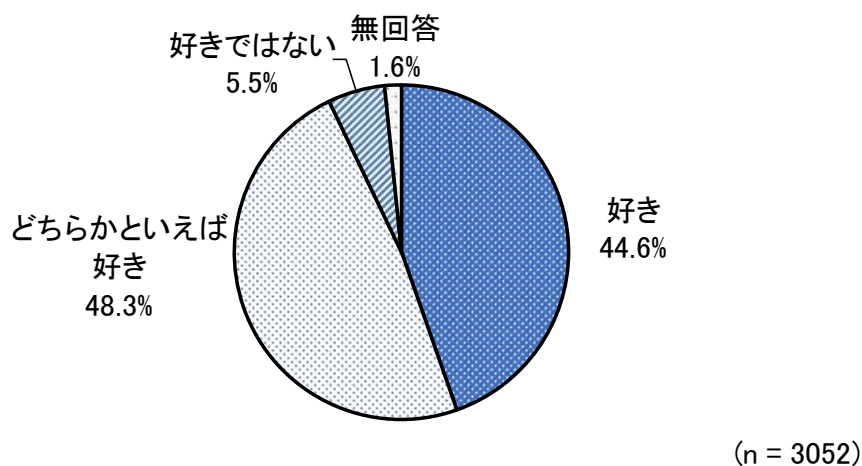
「桂萱地区・永明地区・城南地区」が20.5%と最も高く、次いで「東地区・元総社地区・総社地区・清里地区」が19.5%、「本庁管内（旧市内）」が17.1%となっている。



2. 住みやすさ

【問1】あなたは前橋市というまちが好きですか。（○は1つ）

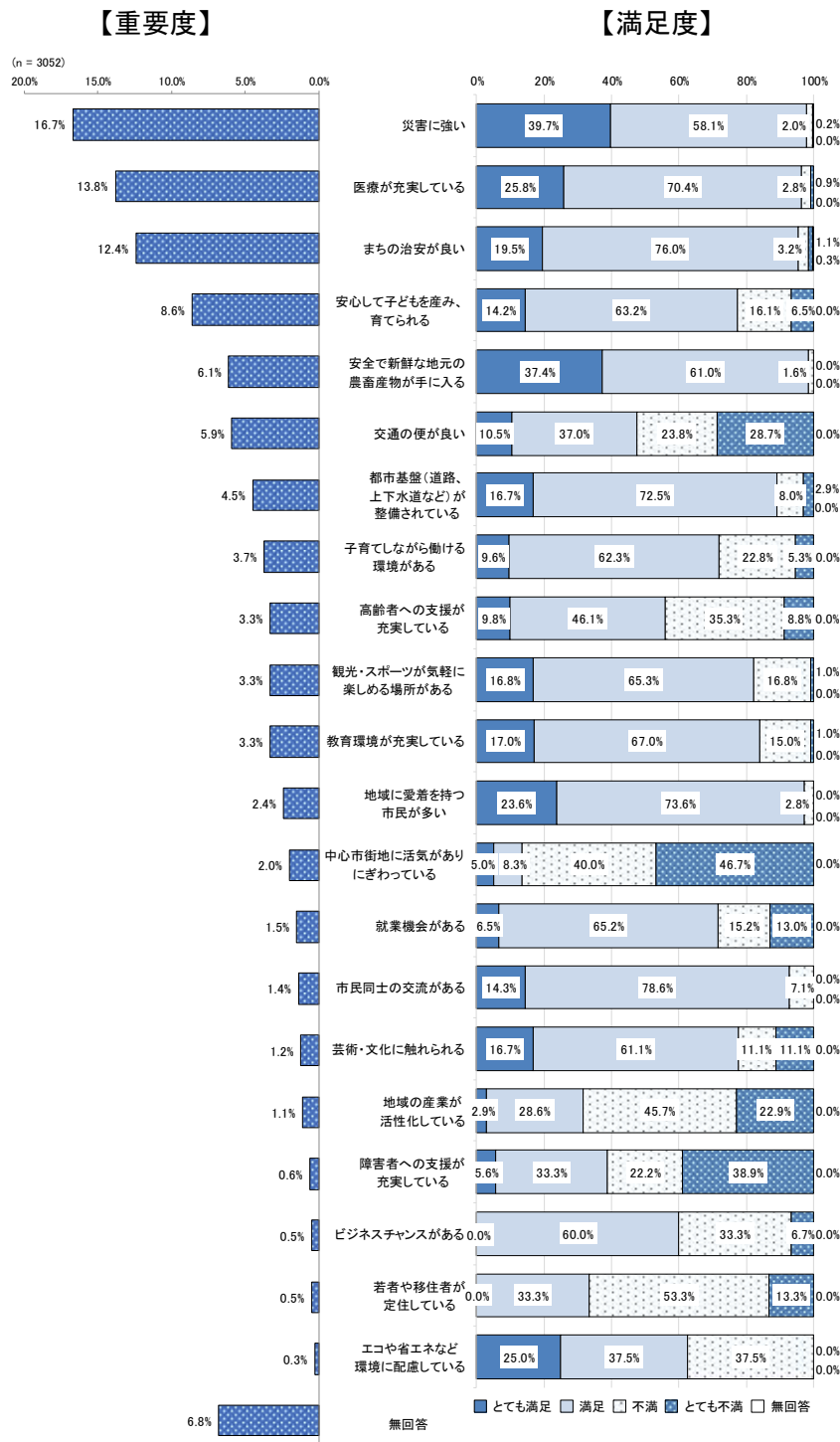
全体では「どちらかといえば好き」が48.3%と最も高く、次いで「好き」が44.6%、「好きではない」が5.5%となっている。



【問2】前橋市というまちの住みやすさについて、あなたが最も重要としているものを順番に3つだけ選んで重要度順に番号を記入し、その満足度についてあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。

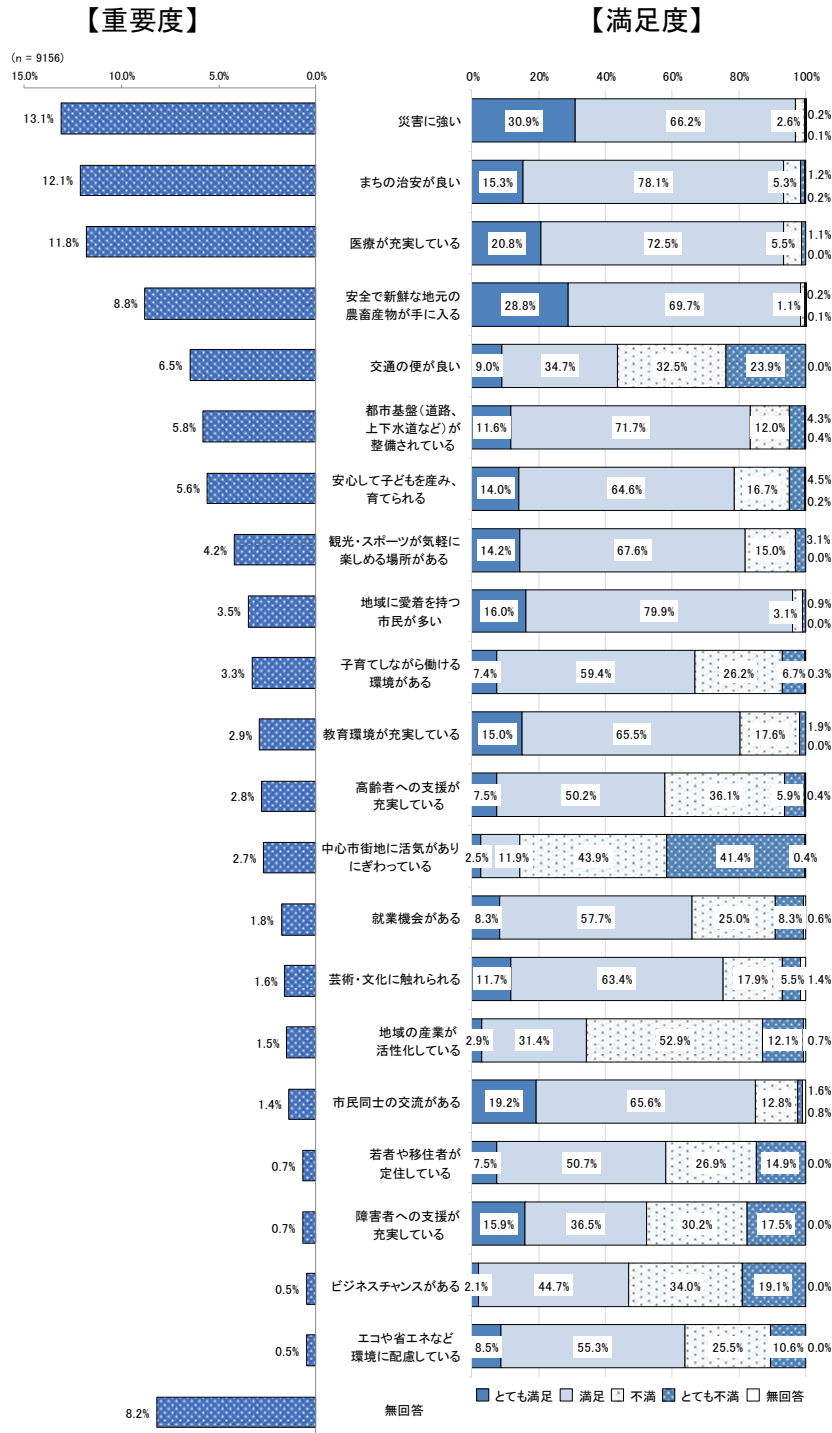
【住みやすさについて（最も重要なこと）】

最も重要なことをみると、「災害に強い」が16.7%と最も高く、次いで「医療が充実している」が13.8%、「まちの治安が良い」が12.4%となっている。満足度をみると、9項目で『満足』が8割を超えているが、「中心市街地に活気がありにぎわっている」、「地域の産業が活性化している」及び「若者や移住者が定住している」は低い傾向がみられる。



【住みやすさについて（１～３番目のいずれかで重要）】

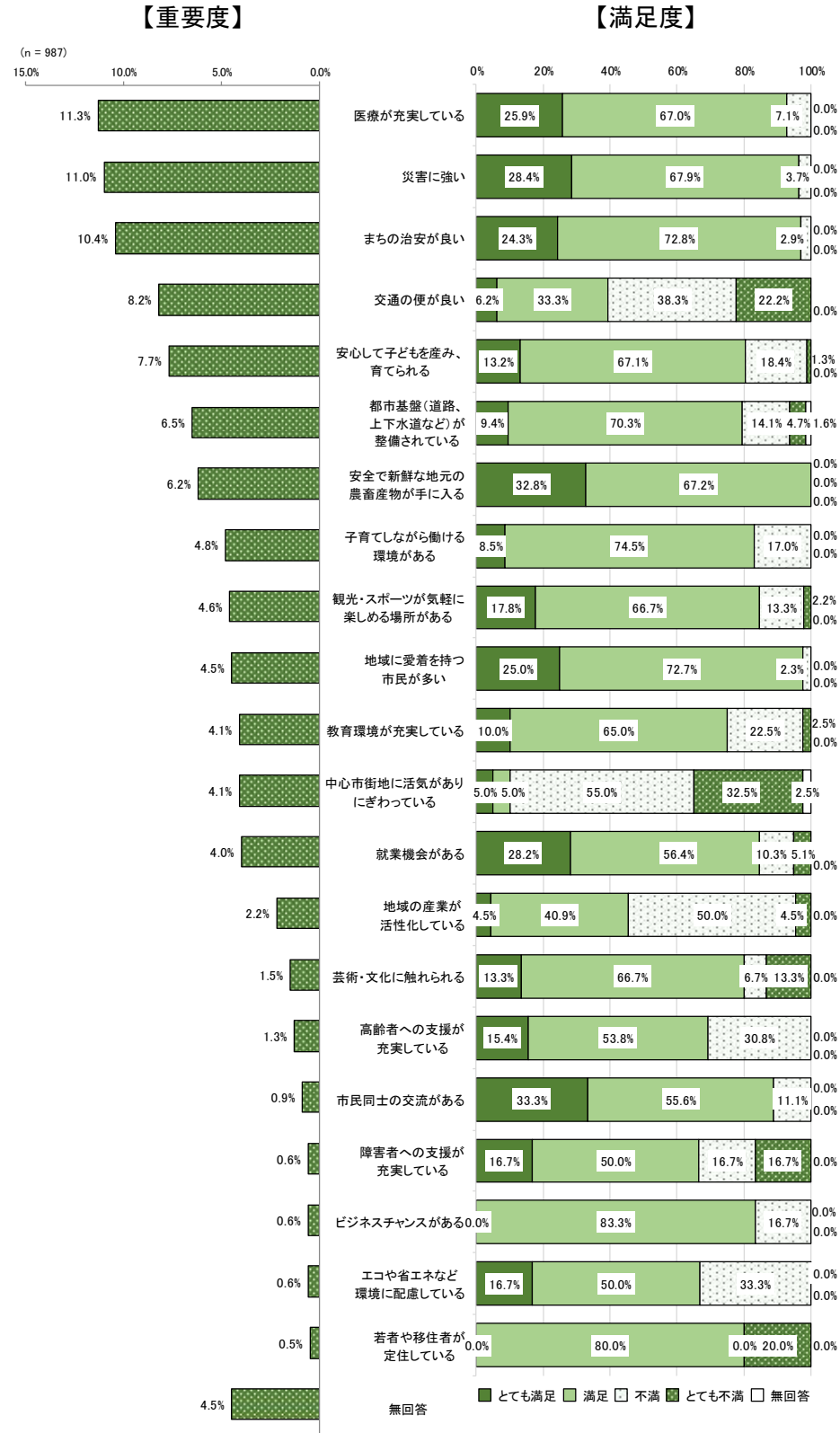
１～３番目のいずれかで重要なことをみると、「災害に強い」が13.1%と最も高く、次いで「まちの治安が良い」が12.1%、「医療が充実している」が11.8%となっている。満足度をみると、「安全で新鮮な地元の農畜産物が手に入る」、「災害に強い」及び「地域に愛着を持つ市民が多い」では『満足』（「とても満足」と「満足」の合計）の割合が高く、「中心市街地に活気がありにぎわっている」、「地域の産業が活性化している」及び「交通の便が良い」の割合は低い傾向がみられる。



【住みやすさについて（１～３番目のいずれかで重要）】

●包括連携協定等を結んでいる企業・大学等に所属している市民の回答

全体と比較して、重要度では「安心して子どもを産み、育てられる」、「交通の便が良い」、「就業機会がある」及び「子育てしながら働ける環境がある」と就業に関連した項目の割合が全体の結果より高い傾向がみられる。満足度では「子育てしながら働ける環境がある」及び「就業機会がある」が全体の結果より高い傾向がみられ、「中心市街地に活気がありにぎわっている」が低い傾向がみられる。



【問3】前橋市を今以上により住みやすい街にするために、何がどうなったらよいと思いますか。また、その実現に向けてどのような工夫やアクションが有効だと思いますか。

この設問は自由記述の回答データをテキストマイニング技術を用いて分析し集計している。詳細については「①カテゴリ分類」「②t分布型確率的近傍埋め込み法（t-SNE）」で後述している。

①カテゴリ分類

自由記述の回答データと下記の20カテゴリをそれぞれベクトル変換(数値化)し、各回答を最も類似するカテゴリにクラスタリング(カテゴリ分け)している。各回答は最大で3つのカテゴリに分類され、各カテゴリに振り分けられた回答の件数を集計している。

【カテゴリー一覧 20 種類】

「自然環境」、「交通環境」、「教育・子育て」、「若者支援」、「高齢者支援」、「ショッピングとサービス」、「イベント」、「デジタル化」、「公共施設」、「地域・経済活性化」、「インフラの整備」、「未来と計画」、「福祉と生活環境」、「行政と社会」、「災害対策」、「企業誘致と就労支援」、「安全強化と治安維持」、「スポーツ推進と支援」、「地産地消と特産物推奨」、「人口減少対策」

【前回調査との比較】

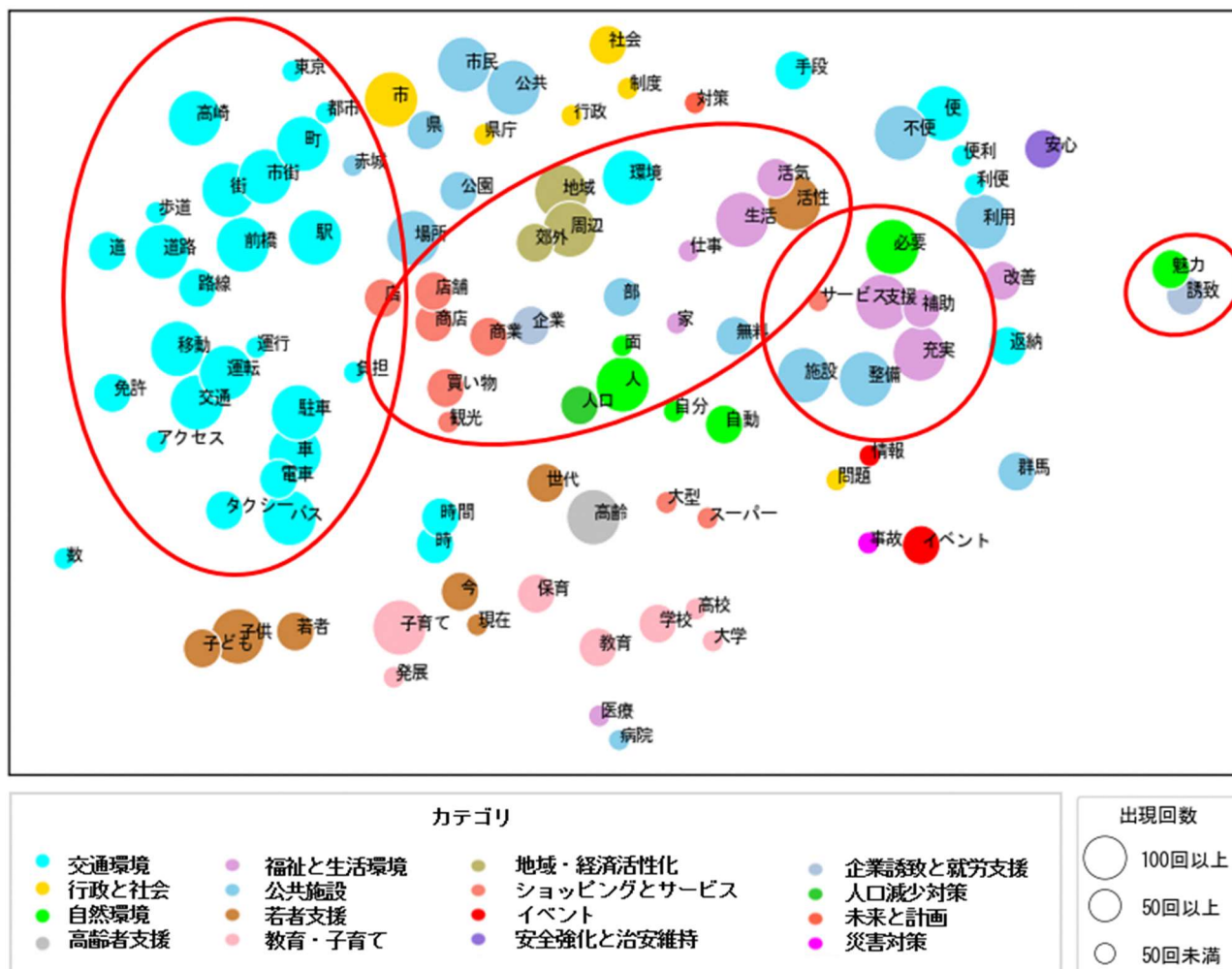
前回調査（令和元年11月実施）の自由記述も同様にテキストマイニングを行い、割合が高い順にランキングした。下表は今回調査、前回調査でのトップ10を掲載している。

今回調査では「教育・子育て」及び「ショッピングとサービス」が前回調査に比べて約3ポイント高く、「高齢者支援」では約5ポイント低くなっている。福祉と生活環境、交通環境、公共施設の重要性は高く保たれているが、教育・子育てやショッピングとサービスに対する関心が高まっていることがわかる。

今回調査（令和5年12月実施）		前回調査（令和元年11月実施）	
回答数 1,514人		回答数 1,638人	
1 福祉と生活環境	28.9%	1 福祉と生活環境	30.1%
2 交通環境	27.9%	2 公共施設	28.9%
3 公共施設	27.5%	3 交通環境	25.5%
4 安全強化と治安維持	16.7%	4 安全強化と治安維持	18.7%
5 教育・子育て	13.7%	5 高齢者支援	18.7%
6 高齢者支援	13.6%	6 人口減少対策	11.0%
7 企業誘致と就労支援	11.4%	7 教育・子育て	10.5%
8 ショッピングとサービス	11.0%	8 企業誘致と就労支援	9.6%
9 人口減少対策	9.6%	9 ショッピングとサービス	7.9%
10 地域・経済活性化	8.7%	10 地域・経済活性化	6.8%

②t 分布型確率的近傍埋め込み法（t-SNE）

自由記述形式の回答から頻出する上位 100 前後の名詞を対象に、「①カテゴリ分類」と同様にベクトル変換（数値化）したのちに 20 カテゴリから最も関連性の高いものに分類した。その後、t-SNE という方法を使って、これらの名詞を 2 次元の図上に表示した。この図では、似た意味を持つ単語が近くに配置され、よく出る単語ほど円が大きく表示される。これにより市民にとっての重要な話題が視覚的に把握できる。



「交通環境」カテゴリに属する単語は他のカテゴリに属する単語と比較して互いに近くに配置されており、市民が交通の利便性やアクセスの改善を重要視していることが示されている。

「交通環境」「福祉と生活環境」などのカテゴリに関連する単語が明確なクラスターを形成していることが示されている。「交通環境」カテゴリの単語が形成するクラスターは、市民が公共交通の利便性の向上を求めていることを示している。「福祉・生活」カテゴリは、生活支援サービスや地域コミュニティの充実を希望する声が多いことを示している。

上図の赤丸部分（クラスター（集団））を参考に回答データを参照すると、以下のような回答がみられた。

【交通環境】

- 市街地や駅前に駐車場を増加、無料化等で気軽に車を駐車できるようにし利便性をよくする
- バスの路線の整備、運行経路や本数を増加させてもっと利用しやすくしてほしい
- 高齢化社会に対応した交通整備（マイクロバスや市内巡回バスの本数増加、タクシー利用）
- 交通量が多い道幅が狭い道路の拡張など交通網を整備し交通渋滞の緩和を図る
- 電車の本数の増加・複線化、路面電車の導入、新幹線が停車する駅になれば便利になる

【活気・活性】

- 若い世代が東京に進学・就職が多く、人口が減り前橋全体に活気がないように感じる
- ものづくり企業に活気がなく、新産業の誘致を積極的に進めてほしい
- 前橋市に根付いている文化、企業、産業を活性化させて人口減少を緩和する
- 旧市街地・中心市街地・中心商店街・前橋駅周辺の活性化

【補助・充実】

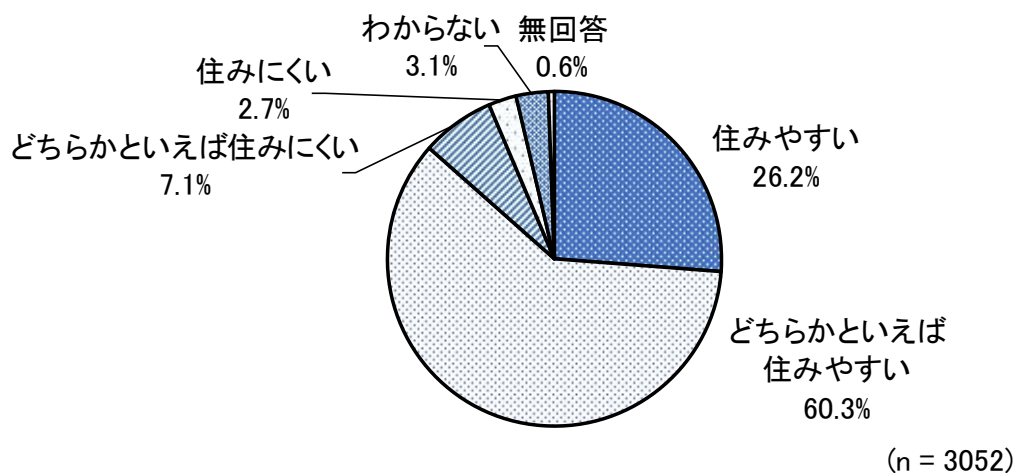
- 子育て支援のさらなる充実
- 保育施設や教育施設、子供が遊べる施設など子育てに最適な環境
- 交通網や住環境を整備し住みやすい環境への改善や対策が必要
- 経済支援として新店舗出店などの企業補助金の充実
- 電気自動車の充電設備やスポーツ施設の充実

【誘致・魅力】

- 都市中心部や駅周辺に、魅力的な施設や店舗を集めて地域を活性化させる
- 高齢者向けの移動販売を行う店舗を呼び込み、年配の方々も快適に生活できる環境を整える
- 観光地の魅力を活かし、大型ショッピングモールやスタジアム、温泉施設などを誘致して人々を引き寄せる
- 大学や研究所、若者が働きたいと思える企業を誘致し、地域から若者が離れるのを防ぐ
- 先進的な企業や将来性のある企業、工場などを招き、雇用機会を増やす
- 外国人労働者増加に伴う治安対策

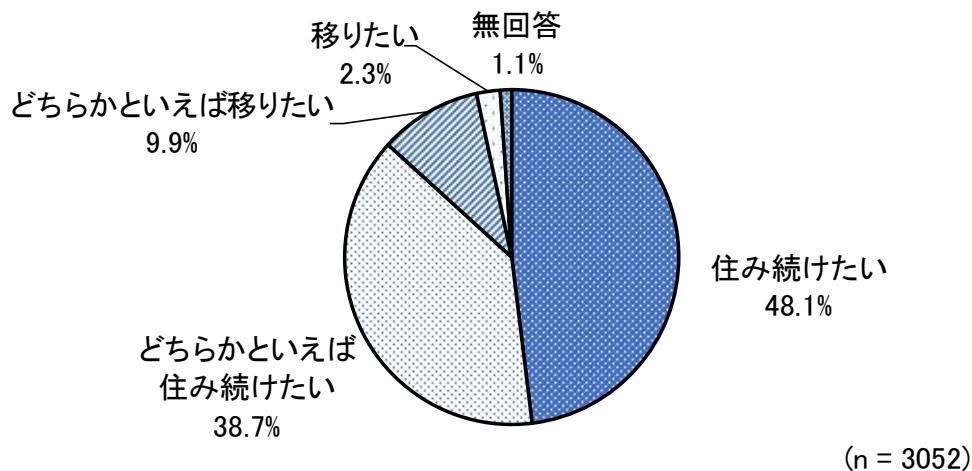
【問4】総合的にみて、前橋市というまちは住みやすいと思いますか。（○は1つ）

全体では「どちらかといえば住みやすい」が60.3%と最も高く、次いで「住みやすい」が26.2%、「どちらかといえば住みにくい」が7.1%となっている。



【問5】あなたは(事情が許せば)これからも前橋市にずっと住み続けたいと思いますか。
(○は1つ)

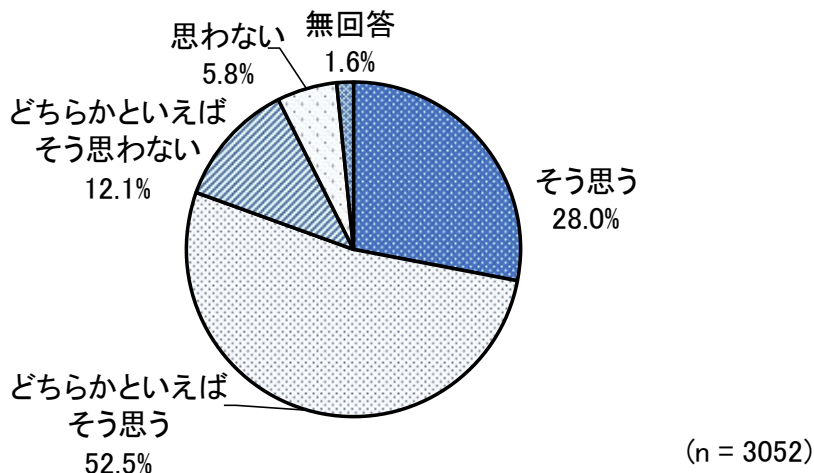
全体では「住み続けたい」が48.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が38.7%、「どちらかといえば移りたい」が9.9%となっている。



【問6】あなたは前橋市で暮らす人の役に立ちたい、何かしたいと思いますか。(それぞれ○は1つ)

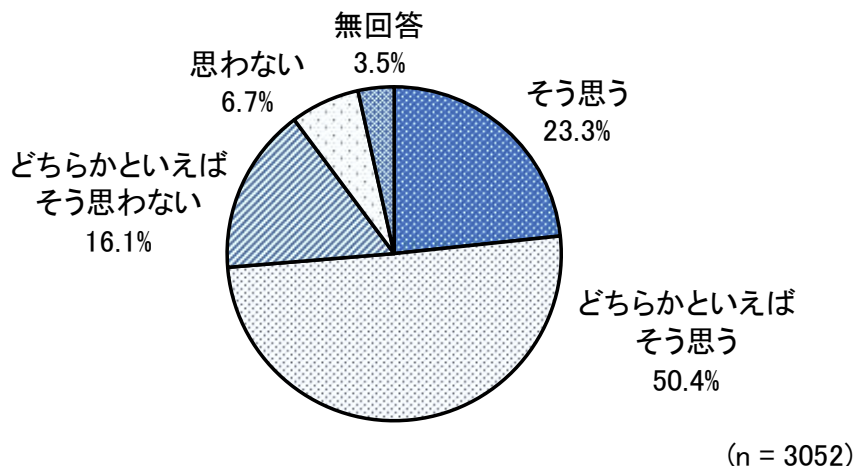
① 役に立ちたい

全体では「どちらかといえばそう思う」が52.5%と最も高く、次いで「そう思う」が28.0%、「どちらかといえばそう思わない」が12.1%となっている。



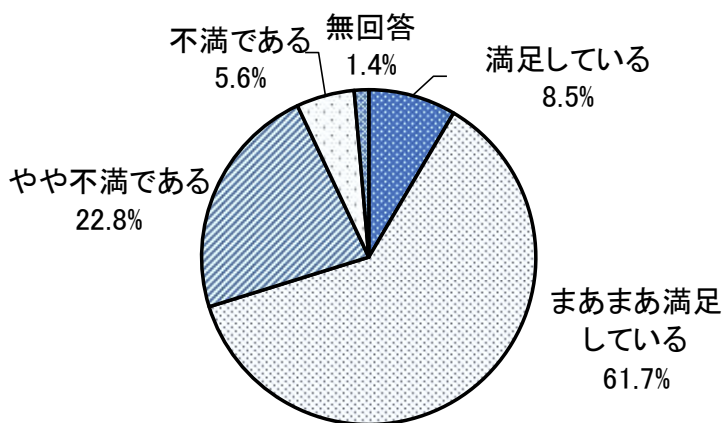
② 何かしたい

全体では「どちらかといえばそう思う」が50.4%と最も高く、次いで「そう思う」が23.3%、「どちらかといえばそう思わない」が16.1%となっている。



【問 7】あなたは前橋市の行政サービスについて満足していますか。(○は1つ)

全体では「まあまあ満足している」が61.7%と最も高く、次いで「やや不満である」が22.8%、「満足している」が8.5%となっている。

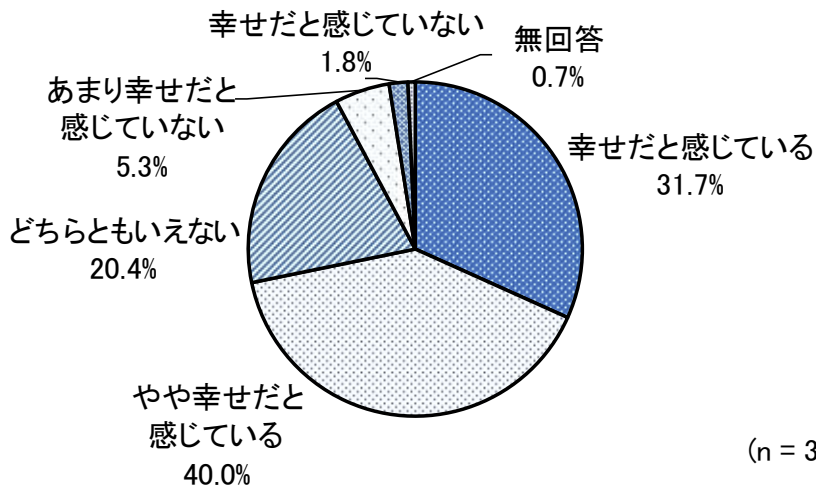


(n = 3052)

3. 幸福度 (Well-Being)

【問 8】あなたは現在、どの程度幸せだと感じていますか。(最も近いものに○を1つ)

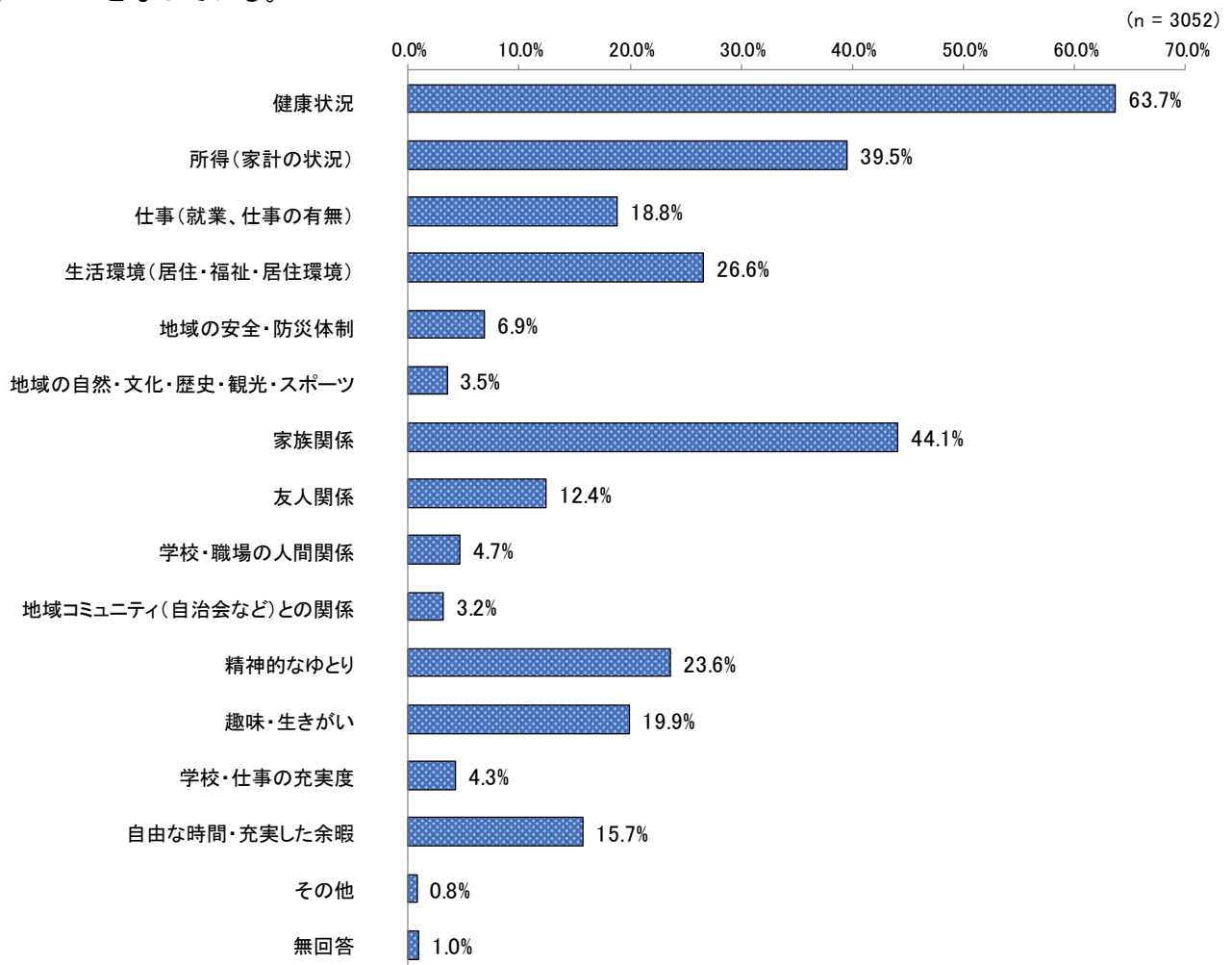
全体では「やや幸せだと感じている」が40.0%と最も高く、次いで「幸せだと感じている」が31.7%、「どちらともいえない」が20.4%となっている。



(n = 3052)

【問9】現在のあなたが「幸せ」かどうかを判断する際に重視したことはなんですか。（○は3つ）

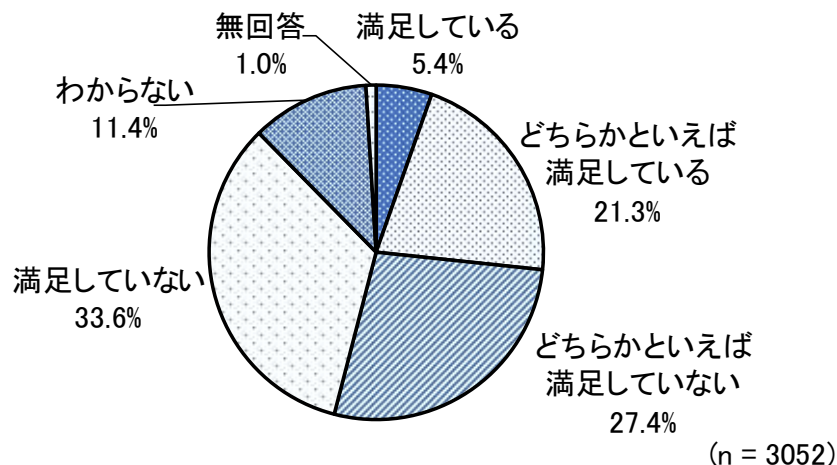
全体では、「健康状況」が 63.7%と最も高く、次いで「家族関係」が 44.1%、「所得（家計の状況）」が 39.5%となっている。



4. 公共交通・自転車の利用環境

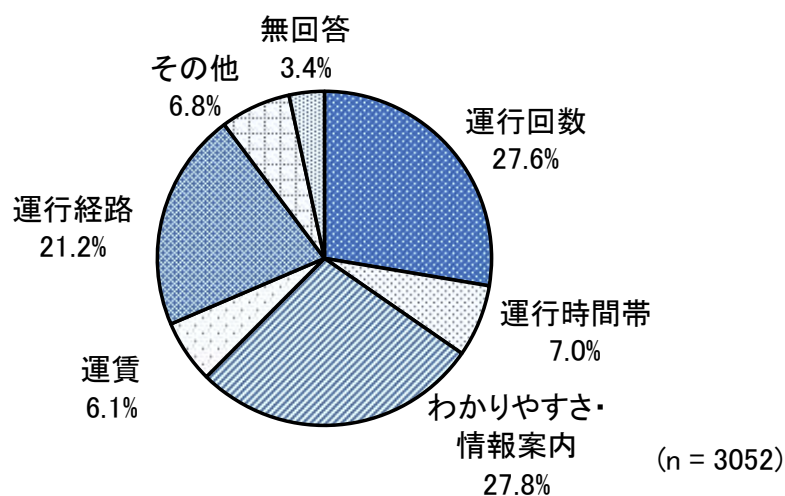
【問10】あなたは、日常生活の中で公共交通機関全体について満足していますか。（○は1つ）

全体では「満足していない」が 33.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足していない」が 27.4%、「どちらかといえば満足している」が 21.3%となっている。



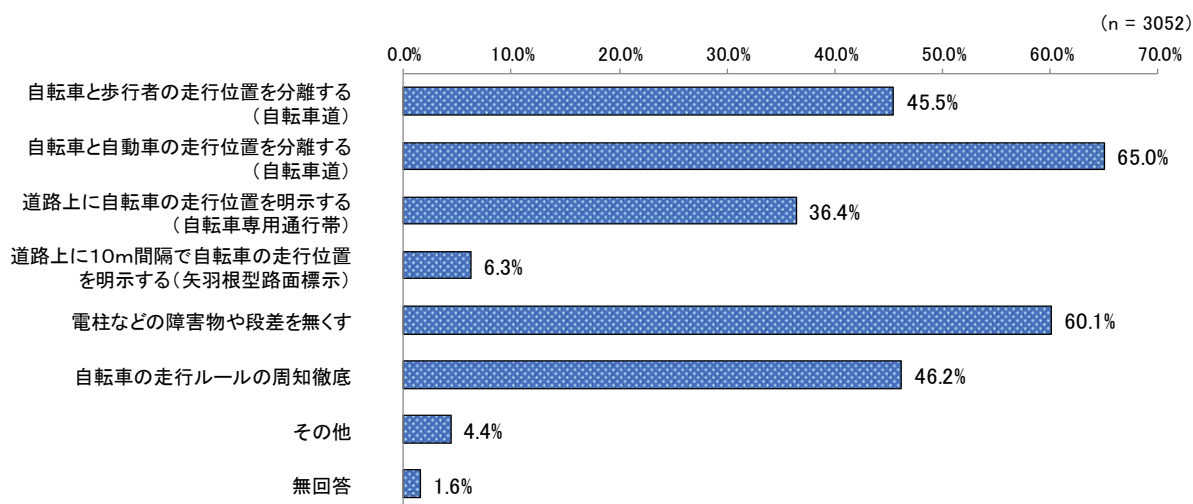
【問 1 1】バスを利用するためには、どこを改善すべきと思いますか。(〇は1つ)

全体では「わかりやすさ・情報案内」が27.8%と最も高く、次いで「運行回数」が27.6%、「運行経路」が21.2%となっている。



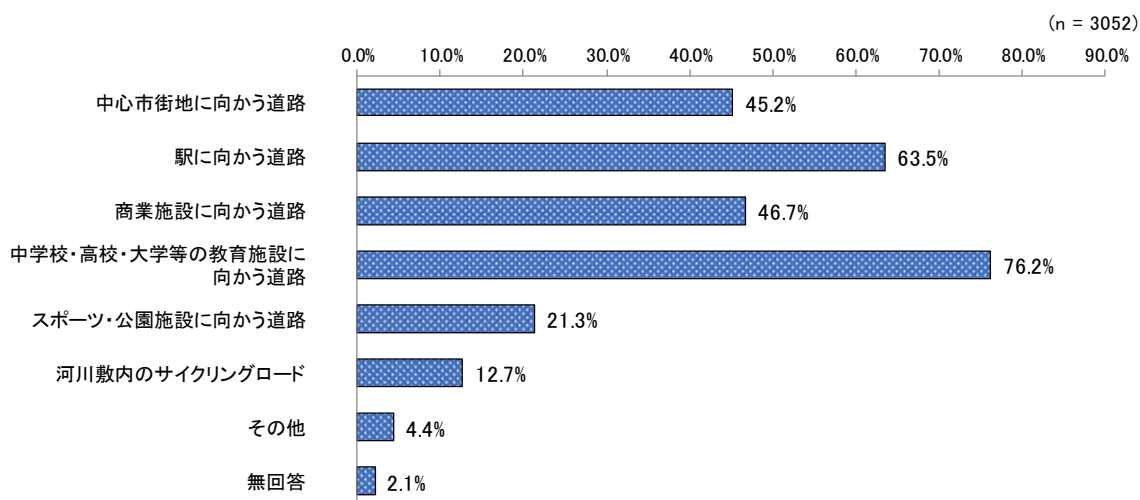
【問 1 2】あなたは、日常生活の中で自転車を安全に利用するために重要だと思うものはなんですか。(〇は3つ)

全体では「自転車と自動車の走行位置を分離する(自転車道)」が65.0%と最も高く、次いで「電柱などの障害物や段差を無くす」が60.1%、「自転車の走行ルールの周知徹底」が46.2%となっている。



【問 1 3】 自転車通行空間を整備する上で、どのような道路を整備することが重要だと思いますか。(○は3つ)

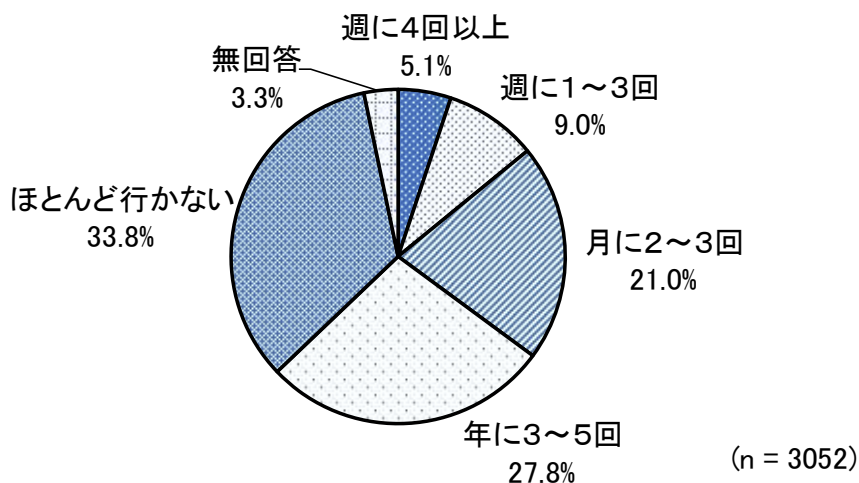
全体では「中学校・高校・大学等の教育施設に向かう道路」が76.2%と最も高く、次いで「駅に向かう道路」が63.5%、「商業施設に向かう道路」が46.7%となっている。



5. 産業振興・農業施策

【問 1 4】 あなたは中心市街地に、どのくらいの頻度で訪れますか。(○は1つ)

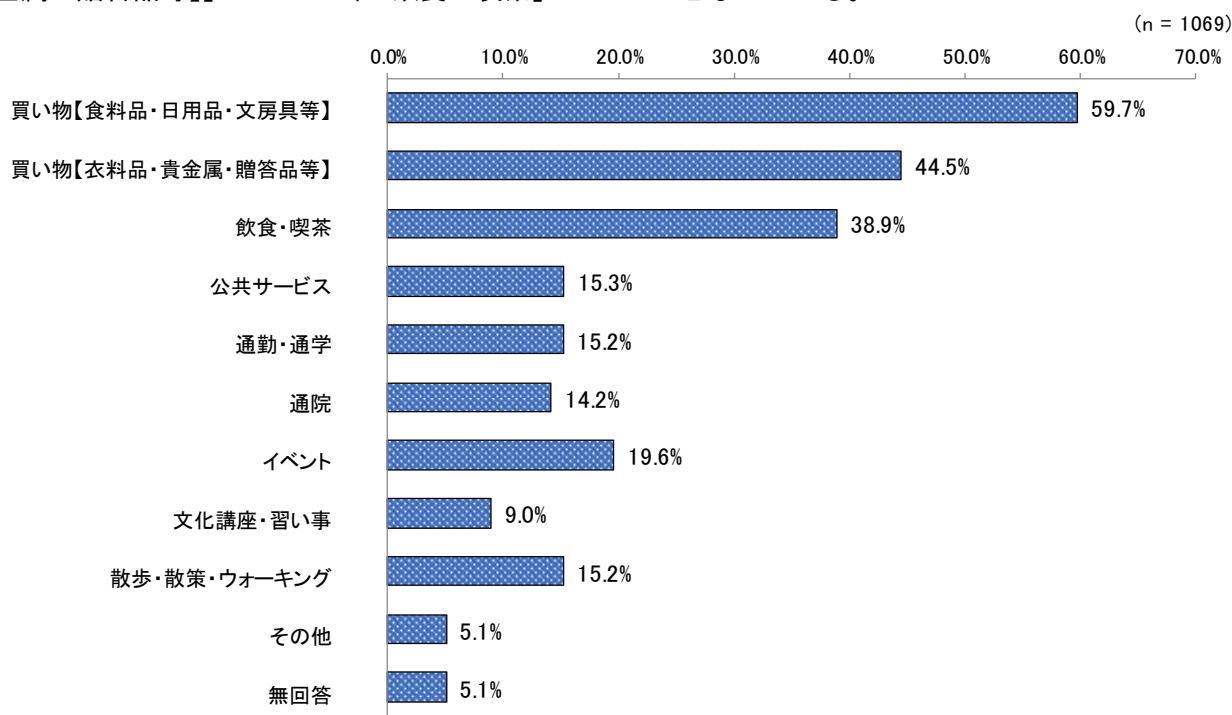
全体では「ほとんど行かない」が33.8%と最も高く、次いで「年に3～5回」が27.8%、「月に2～3回」が21.0%となっている。



問 1 4 で「週に 4 回以上」「週に 1 ～ 3 回」「月に 2 ～ 3 回」と 答えた方へお聞きします。

【問 1 4 － 1】あなたが中心市街地（まちなか）へ行く目的として、どのようなものがありますか。（当てはまるものすべてに○）

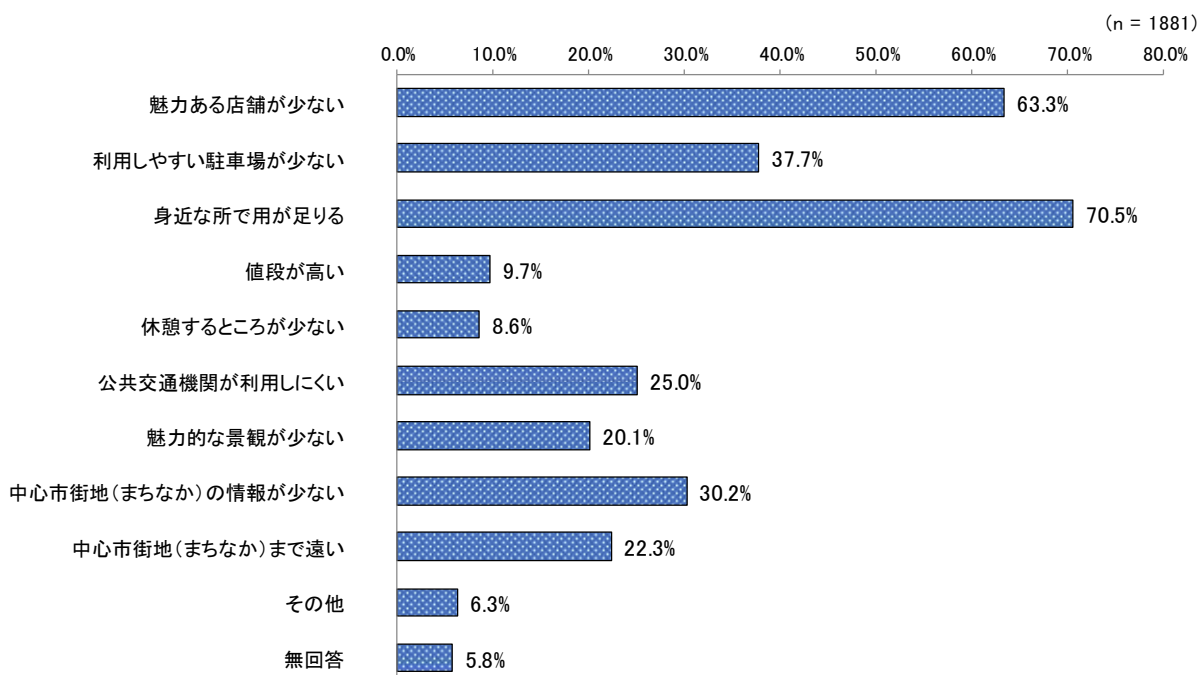
全体では「買い物【食料品・日用品・文房具等】」が 59.7%と最も高く、次いで「買い物【衣料品・貴金属・贈答品等】」が 44.5%、「飲食・喫茶」が 38.9%となっている。



問 1 4 で「年に 3 ～ 5 回」「ほとんど行かない」と 答えた方へお聞きします。

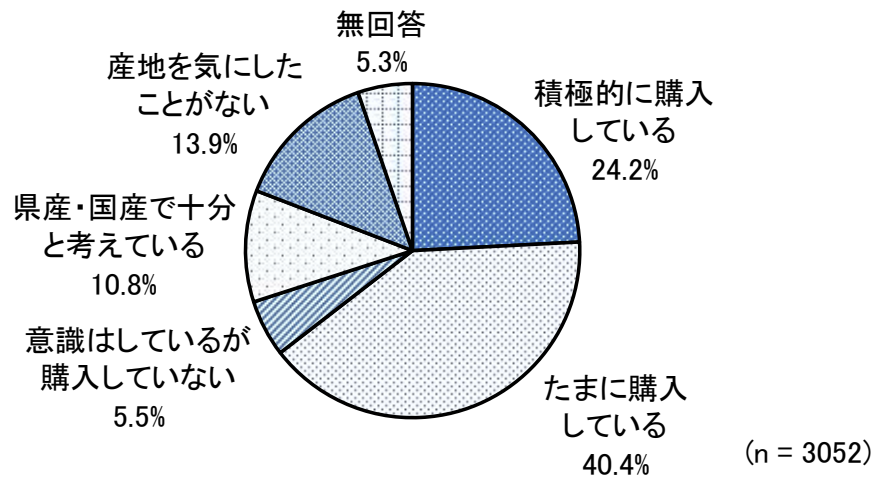
【問 1 4 － 2】あなたが中心市街地（まちなか）に行かない理由として、どのようなものがありますか。（当てはまるものすべてに○）

全体では「身近な所で用が足る」が 70.5%と最も高く、次いで「魅力ある店舗が少ない」が 63.3%、「利用しやすい駐車場が少ない」が 37.7%となっている。



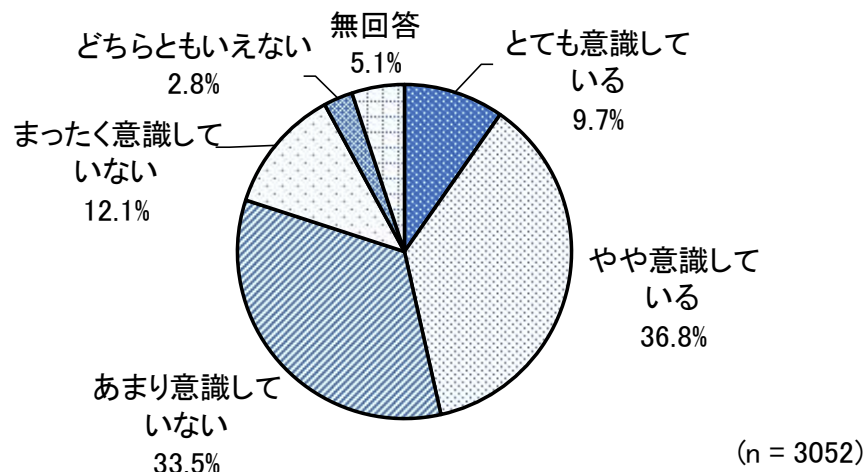
【問１５】あなたは、前橋産農畜産物を購入していますか。（○は１つ）

全体では「たまに購入している」が40.4%と最も高く、次いで「積極的に購入している」が24.2%、「産地を気にしたことがない」が13.9%となっている。



【問１６】あなたは、スーパーなどで野菜を購入する際に、有機農産物等（無農薬や減農薬で栽培された農産物）であることを意識していますか。（○は１つ）

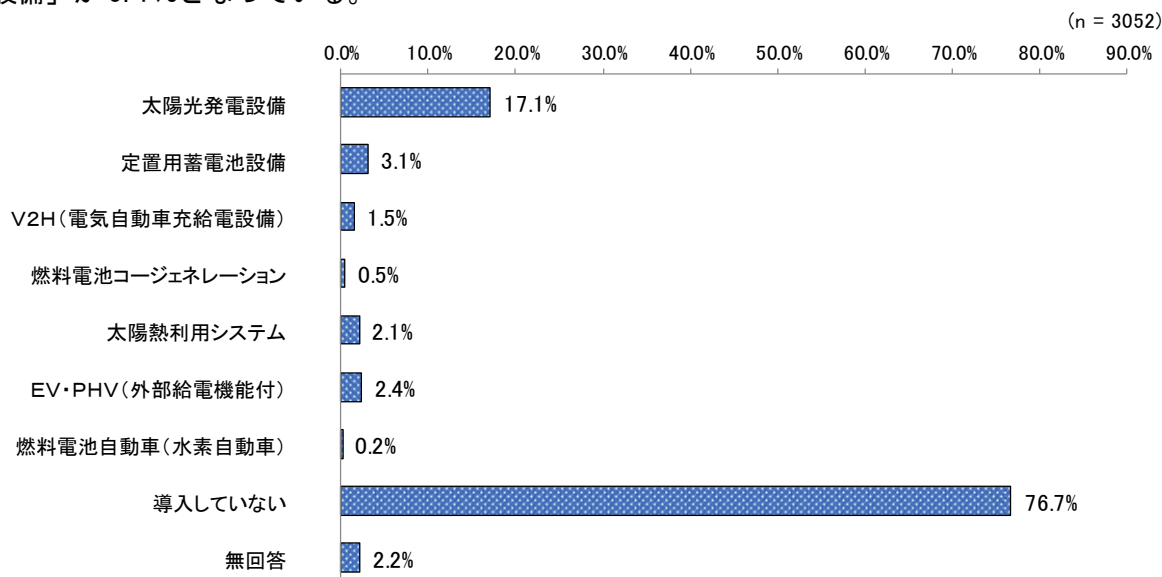
全体では「やや意識している」が36.8%と最も高く、次いで「あまり意識していない」が33.5%、「まったく意識していない」が12.1%となっている。



6. 環境との共生

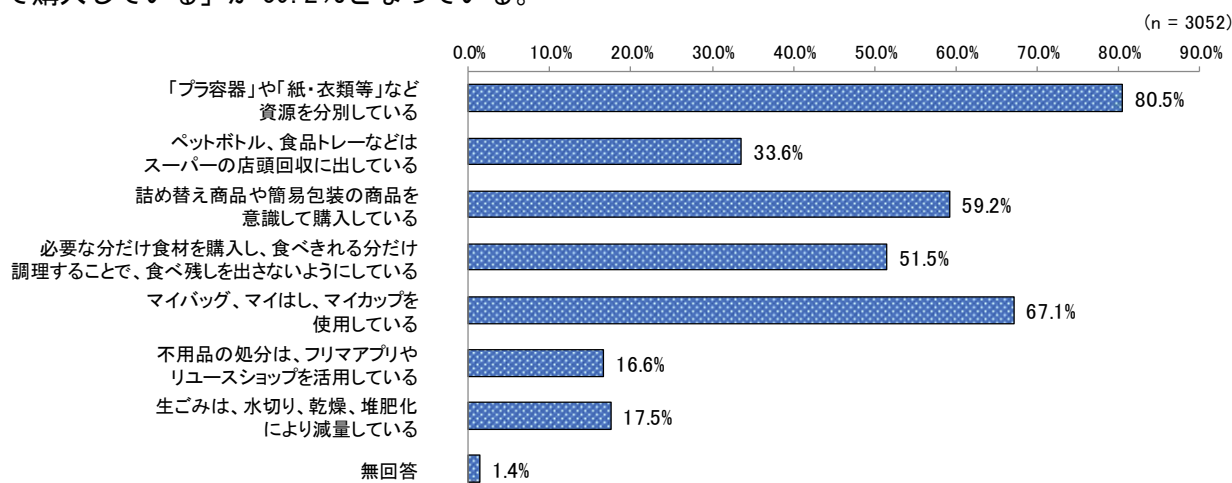
【問 17】 次の新エネルギー・省エネルギー設備や技術等のうち、自宅で導入しているものはありますか。(当てはまるものすべてに○)

全体では「導入していない」が 76.7%と最も高く、次いで「太陽光発電設備」が 17.1%、「定置用蓄電池設備」が 3.1%となっている。



【問 18】 あなたは日ごろからごみを減らすために、どのような取り組みをしていますか (当てはまるものすべてに○)

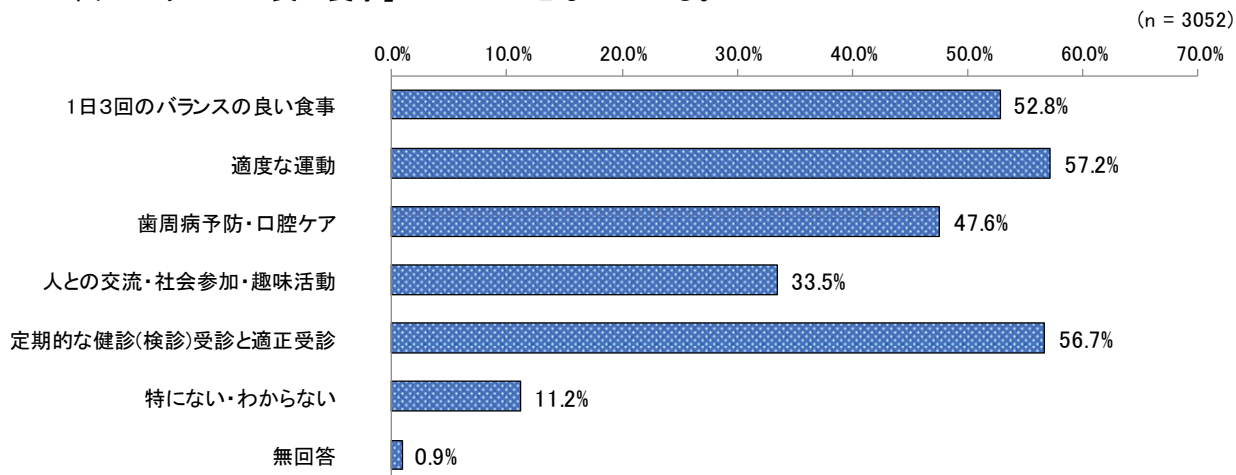
全体では「プラ容器」や「紙・衣類等」など資源を分別している」が 80.5%と最も高く、次いで「マイバッグ、マイはし、マイカップを使用している」が 67.1%、「詰め替え商品や簡易包装の商品を意識して購入している」が 59.2%となっている。



7. 健康・福祉・子育て

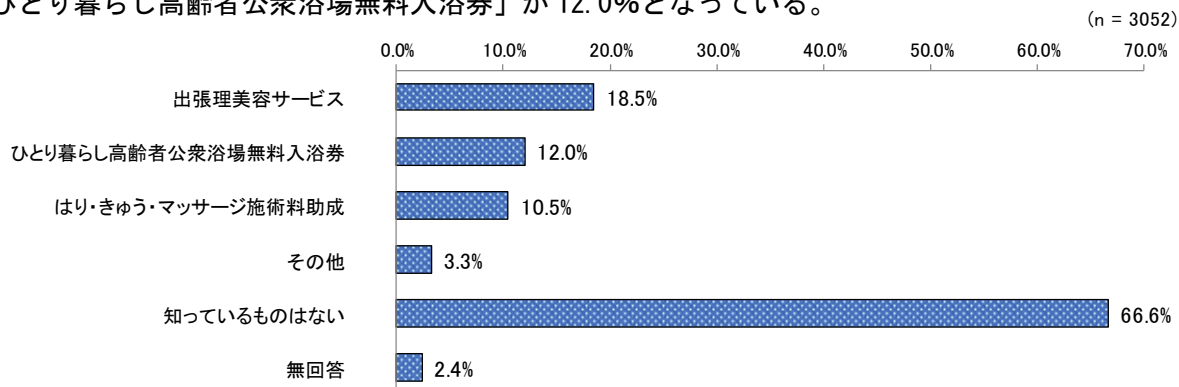
【問１９】フレイルの予防のために自身が取組んでいる（これから取り組もうと考えている）項目はどれですか。（当てはまるものすべてに○）

全体では「適度な運動」が57.2%と最も高く、次いで「定期的な健診(検診)受診と適正受診」が56.7%、「1日3回のバランスの良い食事」が52.8%となっている。



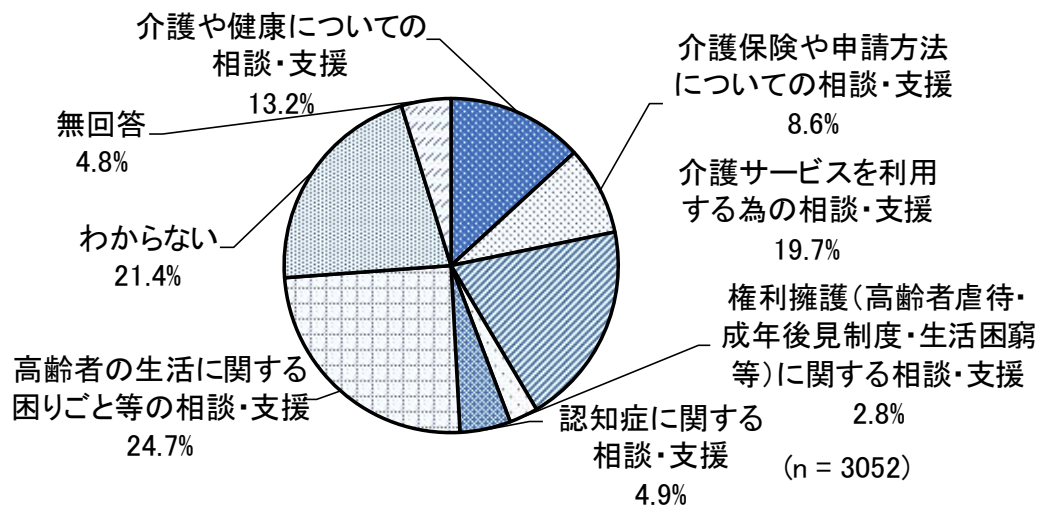
【問２０】前橋市の高齢者福祉サービスについて、知っているものはありますか。（当てはまるものすべてに○）

全体では「知っているものはない」が66.6%と最も高く、次いで「出張理美容サービス」が18.5%、「ひとり暮らし高齢者公衆浴場無料入浴券」が12.0%となっている。



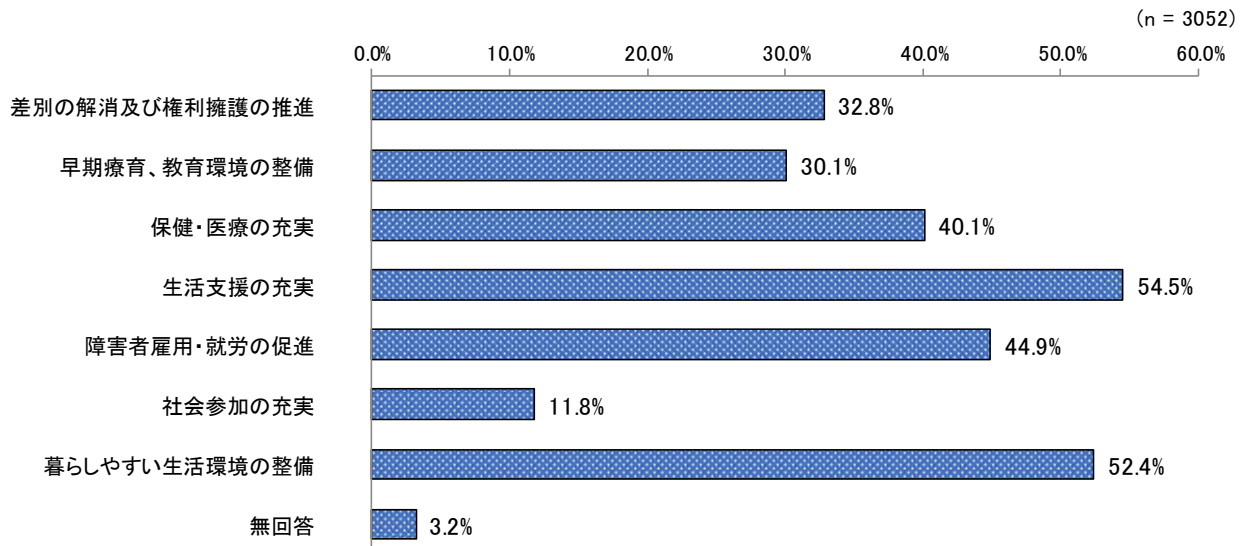
【問 2 1】 高齢者の相談窓口である地域包括支援センターを市内 1 2 か所に設置しています。高齢者が安心して地域で暮らし続けるために、地域包括支援センターに期待するものがありますか。(〇は 1 つ)

全体では「高齢者の生活に関する困りごと等の相談・支援」が 24.7%と最も高く、次いで「わからない」が 21.4%、「介護サービスを利用する為の相談・支援」が 19.7%となっている。



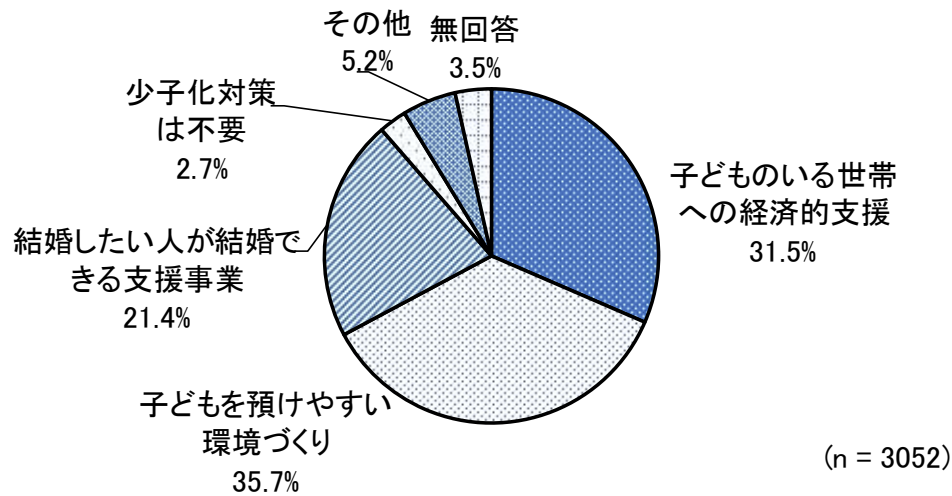
【問 2 2】 障害者が地域で暮らしやすい、共生社会実現のためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は 3 つ)

全体では「生活支援の充実(相談支援、グループホームの整備、福祉ボランティアの養成など)」が 54.5%と最も高く、次いで「暮らしやすい生活環境の整備(公共施設のバリアフリー化、災害時の要配慮者避難対策等)」が 52.4%、「障害者雇用・就労の促進」が 44.9%となっている。



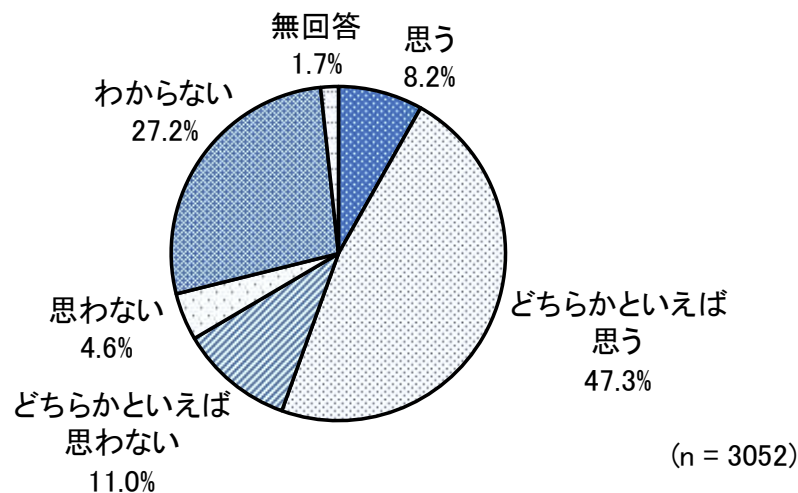
【問 2 3】あなたは、急速に進む少子化に対し、どのような施策に取り組むことが重要だと思いますか。(〇は1つ)

全体では「子どもを預けやすい環境づくり」が35.7%と最も高く、次いで「子どものいる世帯への経済的支援」が31.5%、「結婚したい人が結婚できる支援事業」が21.4%となっている。



【問 2 4】前橋市は子育てしやすい街だと思いますか。(〇は1つ)

全体では「どちらかといえば思う」が47.3%と最も高く、次いで「わからない」が27.2%、「どちらかといえば思わない」が11.0%となっている。



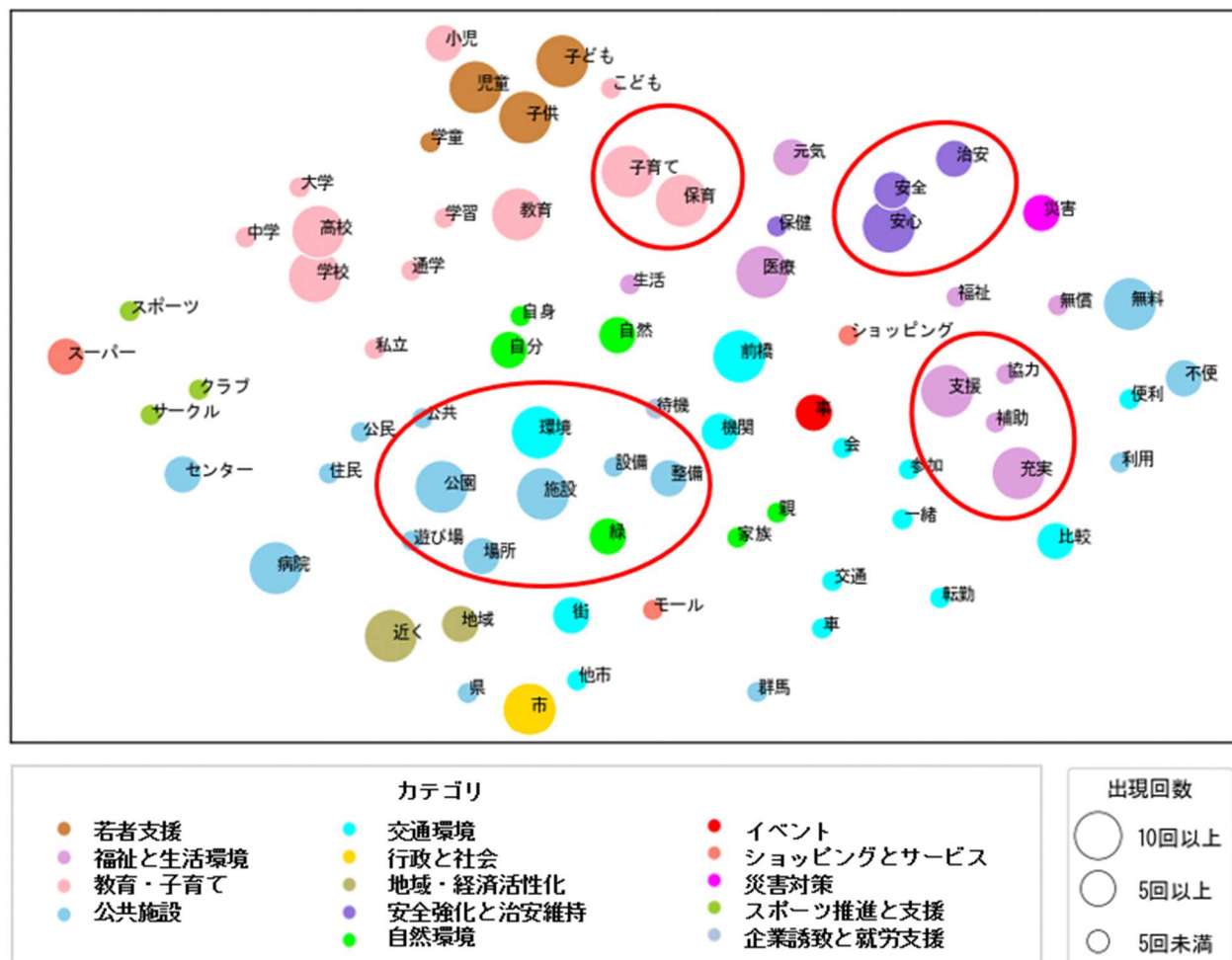
【問24-1】（問24）の回答はなぜそう思われましたか。

『問24 前橋市は子育てしやすい街だと思えますか』に対して「思う」、「どちらかといえば思う」、「どちらかといえば思わない」、「思わない」、「わからない」の回答ごとに問24-1の自由記述を問3と同様にテキストマイニングを実施した。

t 分布型確率的近傍埋め込み法（t-SNE）

問3と同様、自由記述形式の回答から頻出する上位の名詞を選び出し、t 分布型確率的近傍埋め込み法（t-SNE）によって2次元の図上に表示した。問24で前橋市は子育てしやすい街だと「思う」と回答したグループ（以下、「子育てしやすいと思うグループ」と「思わない」と回答したグループ（以下、「子育てしやすいと思わない」グループ）のそれぞれの理由の自由記述を分析し結果を比較した。

<子育てしやすいと思うグループ>



上図の赤丸部分（クラスター（集団））を参考に回答データを参照すると、以下のような回答がみられた。

【子育て・保育】

- 保育園や幼稚園が充実しており、入園しやすい
- 自然豊かな環境で子どもをのびのびと育てることができる
- 子どもの医療費がかからないことや、3人目以降は保育料や給食費が無料など経済的な支援がある
- 子育て環境が整っており、仕事を続けやすく共働きができる

【環境・設備・公園】

- 商業施設が多いことや駐車場が完備されている施設が多く、気軽に出かけやすい
- 学校、習い事や塾などの教育環境の面も充実している
- 子供が利用できる公園や親子で楽しめる施設がたくさんある（ショッピングモール、るなばあく等）
- 災害が少なく自然環境にも恵まれ、自然学習やスポーツに触れやすい環境が充実している

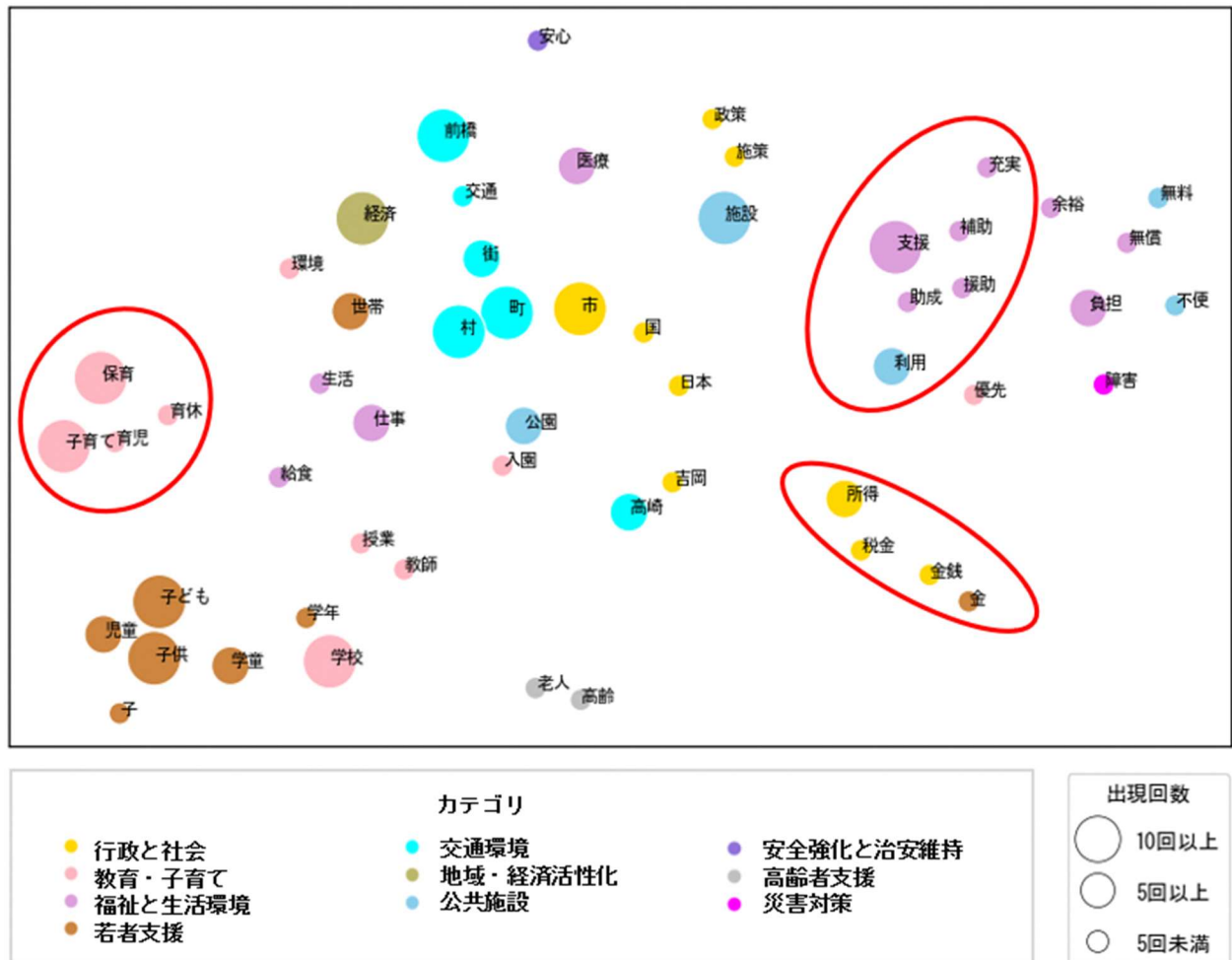
【治安・安心・安全】

- 自然が豊かで整備された公園や児童館、公民館、学童等の比較的安全な遊び場がある
- 子どもの教育に悪い店が少なく治安がいい
- 小児科や医療機関が多く、いざという時にすぐに子どもを病院へ連れていける
- 近所の方の見守りや声かけが地域の治安維持に繋がり、安全な環境が保てている

【支援・補助】

- 保育施設や子育て支援施設が充実しており安心して子育てができる
- 医療補助や子育て支援金などの補助金が充実している

<子育てしやすいと思わないグループ>



上図の赤丸部分（クラスター（集団））を参考に回答データを参照すると、以下のような回答がみられた。

【子育て・保育】（回答者の居住地区を括弧内に記載）

- 保育施設が不足しており、子どもを預けられず働けない（本庁管内（北部）・上川淵地区・元総社地区）
- 医療機関が多いが遅くまでやっていない（総社地区）
- 産婦人科、病児・病後児保育が少ない（元総社地区・総社地区・大胡地区）
- 子どもを遊ばせる施設も子育て世代が楽しめる施設も少ない（本庁管内（北部）・宮城地区・富士見地区）
- 公園が少ない（本庁管内（北部）・元総社地区・富士見地区）

※「子育てしやすいと思わない」グループの【子育て・保育】では地域差がみられたため、居住地区を記載。

【支援・補助】

- 他の市に比べ、子育て世代に対する経済的な支援やサポートが不十分に感じられる
- 施策のアピールが少なく、支援内容を知らない
- 他の市に比べて、子育て支援や援助が少なく、給付金等も少なく感じる
- 子育てにはお金がかかるので金銭的、精神的に余裕がなく子育てに対する支援や援助を手厚くし、経済的負担を軽減してほしい
- 施設はあるが人数や時間制限があり利用しにくく、利用料が高い所もあり金銭的な負担になる

【所得・税金】

- 所得制限があり受けられない支援が多いので所得制限をなくし、どの親にも同様の支援を受けられるようにしてもらいたい
- 最低賃金が低く、物価高や税金が高いため税金を控除する制度等があれば比較的に住みやすく子育てしやすい町とアピールできるのではないかと

＜子育てしやすいと思うグループ＞と＜子育てしやすいと思わないグループ＞の回答からは、子育て環境に関して肯定的な側面と否定的な側面の両方が明らかとなった。この情報を基に、以下のポイントが言える。

【子育てしやすい理由】

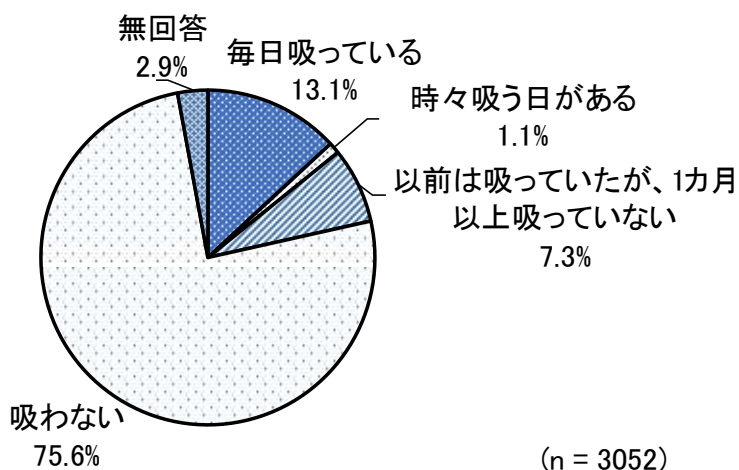
保育施設の充実： 入園しやすく、保育園や幼稚園が豊富
自然環境の恵み： 自然豊かで、子どもをのびのび育てる環境がある
経済的支援： 医療費の無料化、保育料や給食費の無料化（3人目以降）
生活環境： 買い物や外出がしやすい環境、教育環境の充実、安全な公共施設の提供

【子育てしにくい理由】

施設の不足： 地区によって保育施設が不足しているため、働く親が子どもを預けるのが難しい状況
医療・保育の不足： 地区によって医療機関の診療時間の短さや特定の医療・保育サービスの不足
経済的支援の不足： 他市と比較して経済的支援やサポートが不十分に感じられること
施設利用の制約： 利用可能な施設があっても、人数や時間制限、高い利用料金による金銭的負担
所得・税金問題： 所得制限による支援の不平等、低い最低賃金、高い物価や税金による負担

【問 2 5】あなたはタバコを吸いますか。(○は1つ)

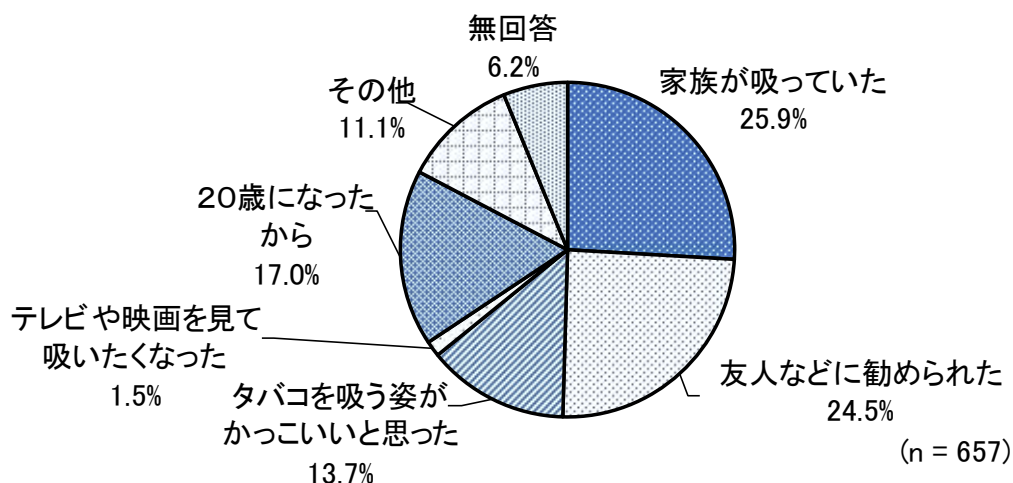
全体では「吸わない」が75.6%と最も高く、次いで「毎日吸っている」が13.1%、「以前は吸っていたが、1カ月以上吸っていない」が7.3%となっている。



問 2 5 で「吸う」「吸ったことがある」と答えた方へお聞きします。

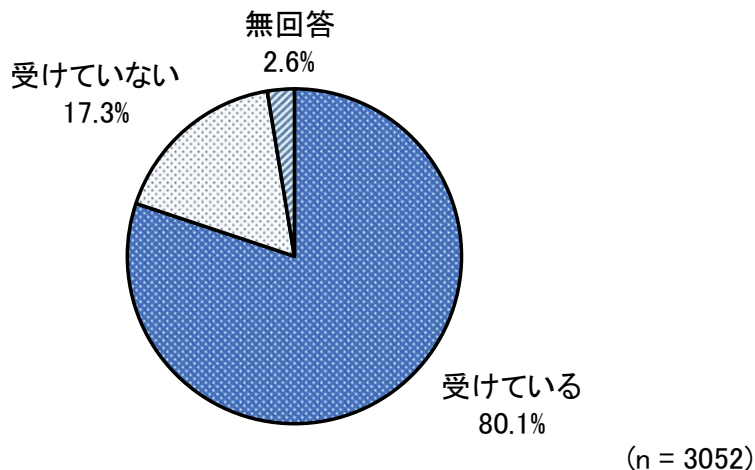
【問 2 5 - 1】吸い始めた理由についてお答えください。(○は1つ)

全体では「家族が吸っていた」が25.9%と最も高く、次いで「友人などに勧められた」が24.5%、「20歳になったから」が17.0%となっている。



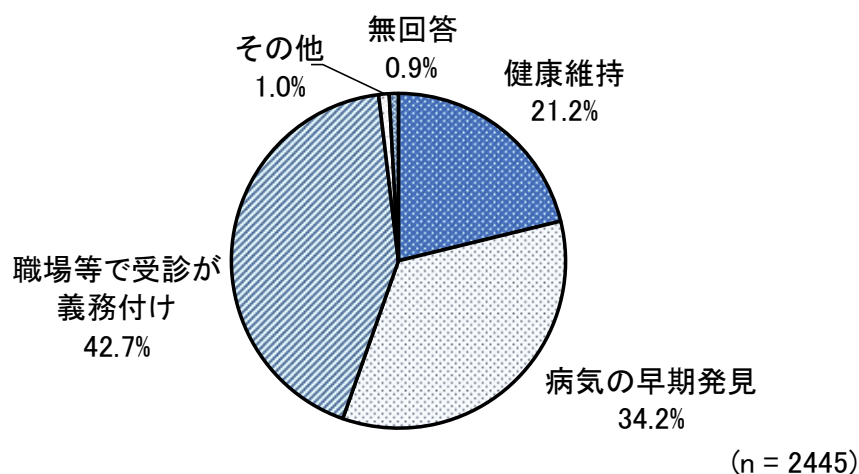
【問 2 6】あなたは健診（検診）を受けていますか。(○は1つ)

全体では「受けている」が80.1%、「受けていない」が17.3%となっている。



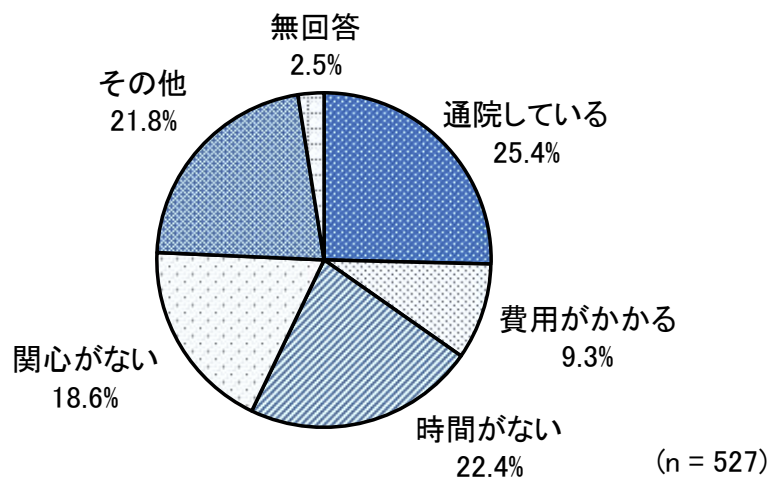
問26で「受けている」と答えた方へお聞きします。

【問26-1】健診（検診）を「受けている」理由についてお答えください。（○は1つ）
全体では「職場等で受診が義務付け」が42.7%と最も高く、次いで「病気の早期発見」が34.2%、「健康維持」が21.2%となっている。



問26で「受けていない」と答えた方へお聞きします。

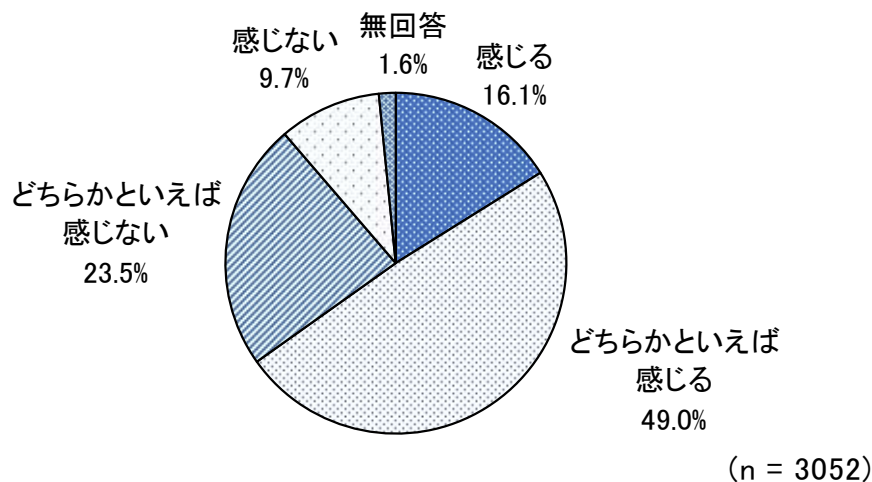
【問26-2】健診（検診）を「受けていない」理由についてお答えください（○は1つ）
全体では「通院している」が25.4%と最も高く、次いで「時間がない」が22.4%、「その他」が21.8%となっている。



8. 教育・文化

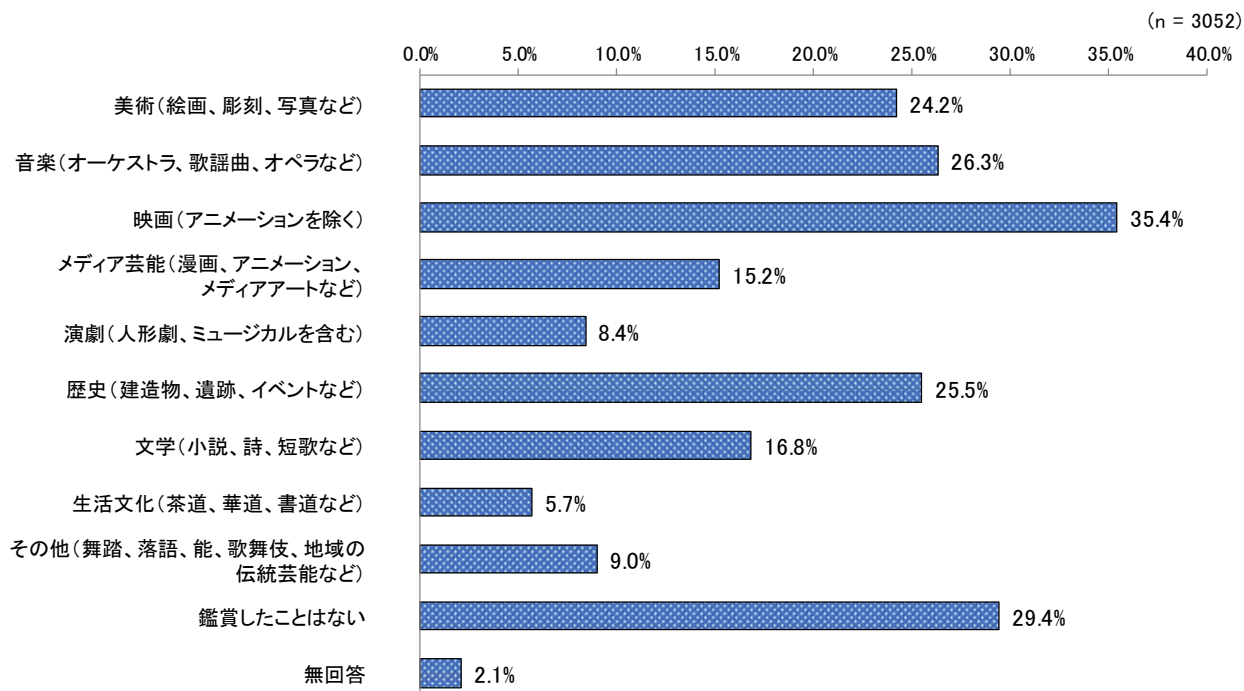
【問27】あなたは前橋の自然・歴史文化・食・風土などに誇りを感じますか。(〇は1つ)

全体では「どちらかといえば感じる」が49.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば感じない」が23.5%、「感じる」が16.1%となっている。



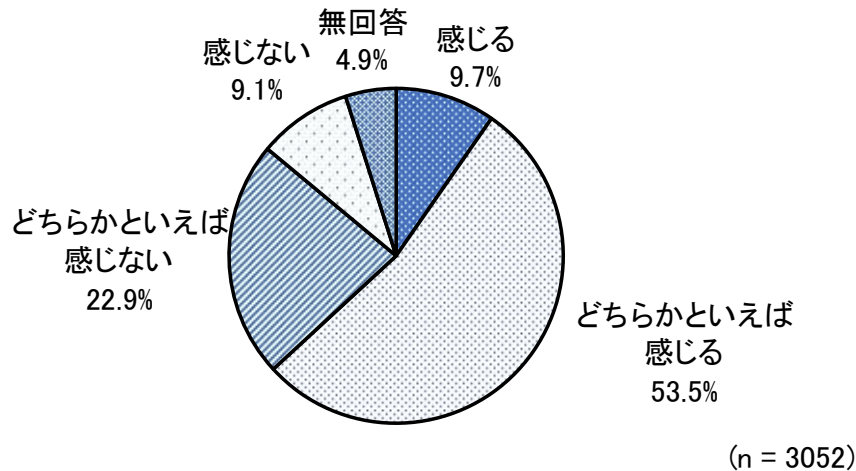
【問28】あなたは過去1年間にどのような文化芸術の鑑賞や体験をしましたか。(当てはまるものすべてに〇)

全体では「映画(アニメーションを除く)」が35.4%と最も高く、次いで「鑑賞したことはない」29.4%、「音楽(オーケストラ、歌謡曲、オペラなど)」が26.3%となっている。



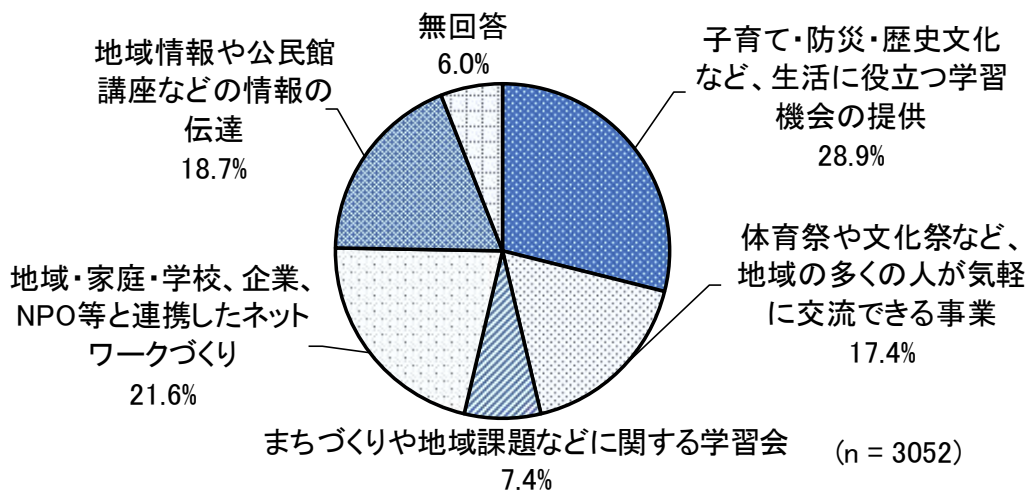
【問 2 9】あなたは、子どもたちが確かな学力を身に付け、心身ともに成長できるよう学校教育が行われていると感じますか。(〇は1つ)

全体では「どちらかといえば感じる」が53.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば感じない」が22.9%、「感じる」が9.7%となっている。



【問 3 0】公民館やコミュニティセンターに期待する取り組みはどれですか。(〇は1つ)

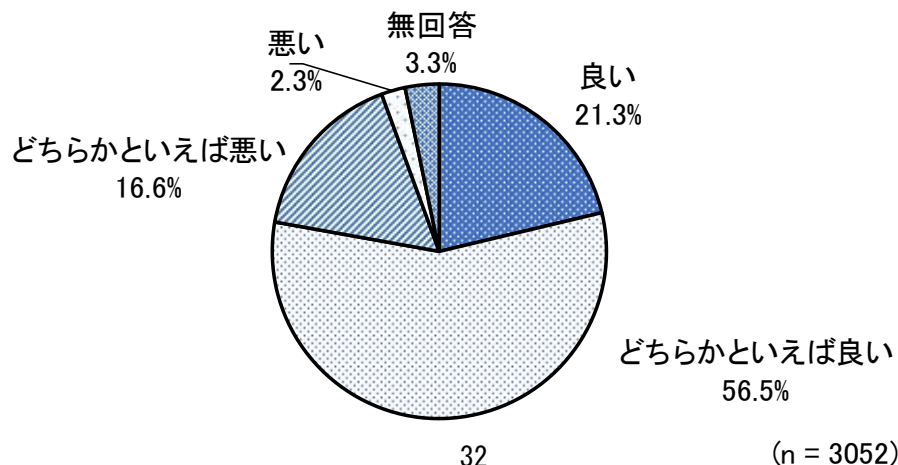
全体では「子育て・防災・歴史文化など、生活に役立つ学習機会の提供」が28.9%と最も高く、次いで「地域・家庭・学校、企業、NPO等と連携したネットワークづくり」が21.6%、「地域情報や公民館講座などの情報の伝達」が18.7%となっている。



9. 景観・緑に関すること

【問 3 1】あなたは、前橋の景観についてどのように感じていますか。(〇は1つ)

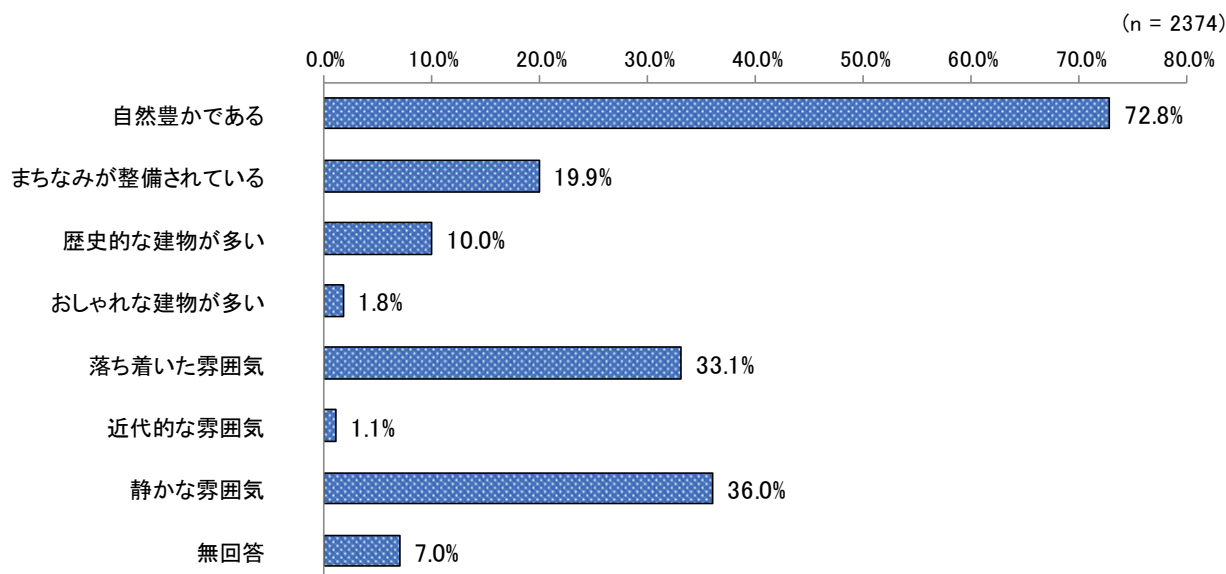
全体では「どちらかといえば良い」が56.5%と最も高く、次いで「良い」が21.3%、「どちらかといえば悪い」が16.6%となっている。



問3 1で「良い」「どちらかといえば良い」と答えた方へお聞きします。

【問3 1－1】どのようなところが良いと感じますか。（当てはまるものすべてに○）

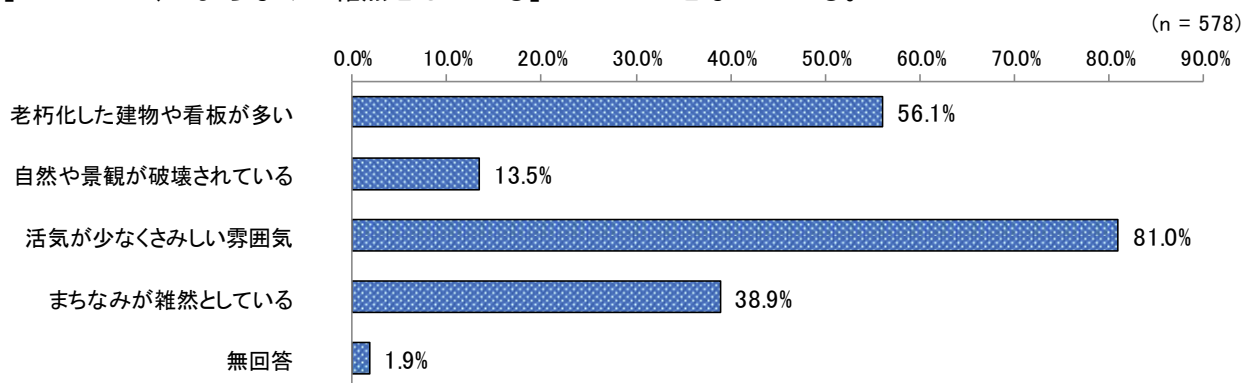
全体では「自然豊かである」が72.8%と最も高く、次いで「静かな雰囲気」が36.0%、「落ち着いた雰囲気」が33.1%となっている。



問3 1で「どちらかといえば悪い」「悪い」と答えた方へお聞きします。

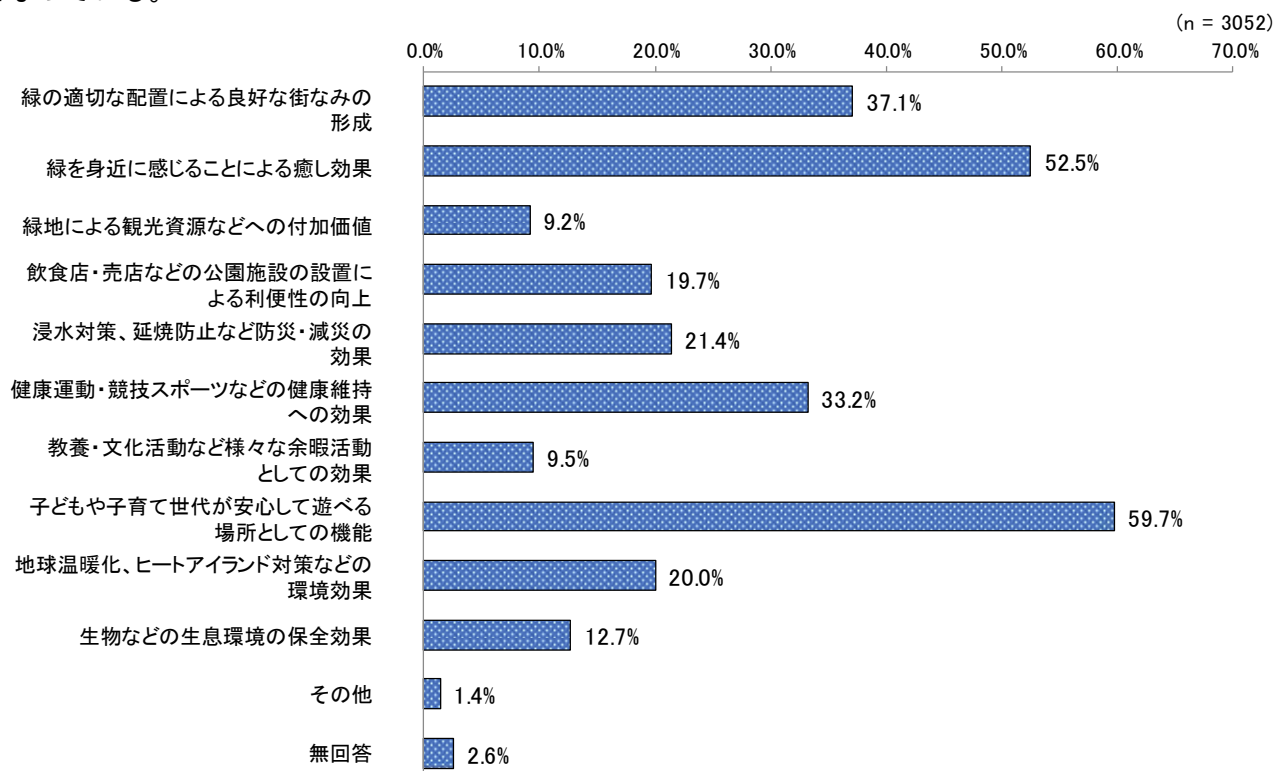
【問3 1－2】どのようなところが悪いと感じますか。（当てはまるものすべてに○）

全体では「活気が少なくさみしい雰囲気」が81.0%と最も高く、次いで「老朽化した建物や看板が多い」が56.1%、「まちなみが雑然としている」が38.9%となっている。



【問3 2】あなたは、日々の生活において、公園や緑地にどのような効果や機能を期待しますか。(〇は3つ)

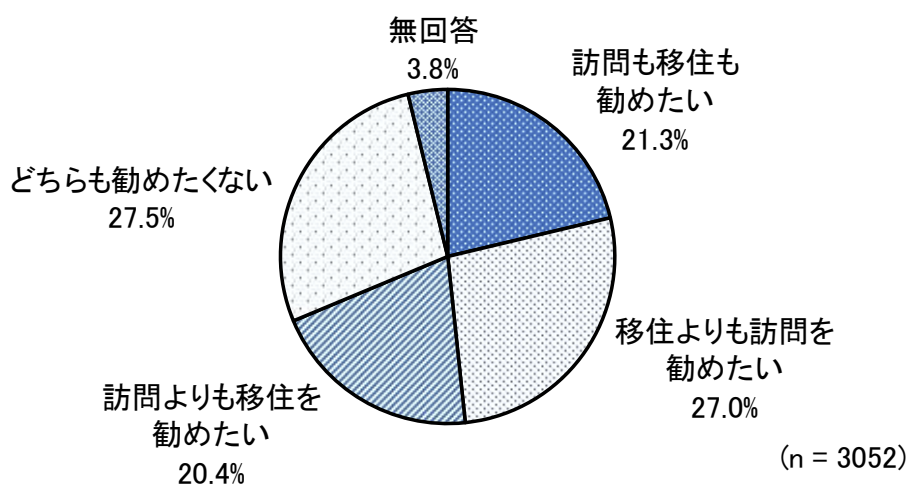
全体では「子どもや子育て世代が安心して遊べる場所としての機能」が59.7%と最も高く、次いで「緑を身近に感じることによる癒し効果」が52.5%、「緑の適切な配置による良好な街なみの形成」が37.1%となっている。



10. 移住促進

【問3 3】あなたが現在、住んでいる地域への訪問（観光、買い物、レジャー、街歩きなど）や移住を友人などに勧めたいですか。(〇は1つ)

全体では「どちらも勧めたくない」が27.5%と最も高く、次いで「移住よりも訪問を勧めたい」が27.0%、「訪問も移住も勧めたい」が21.3%となっている。

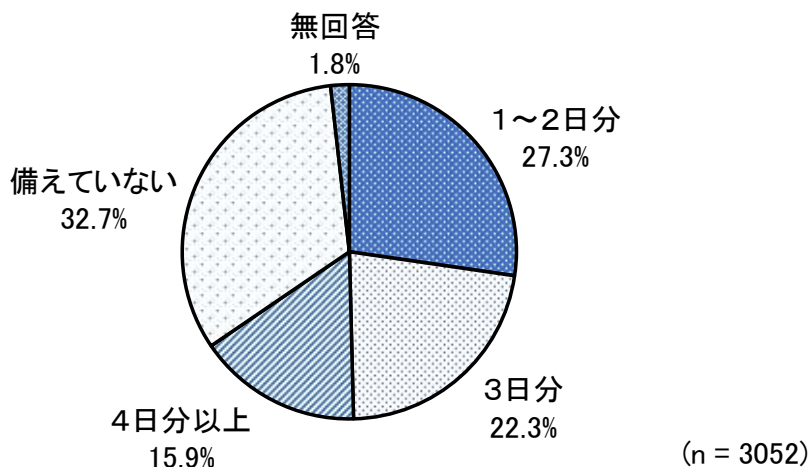


11. 市民生活の安全

【問3 4】あなたは、地震や風水害などの大規模災害に備えて、何日分の飲料水及び食料を備蓄していますか。（それぞれ○は1つ）

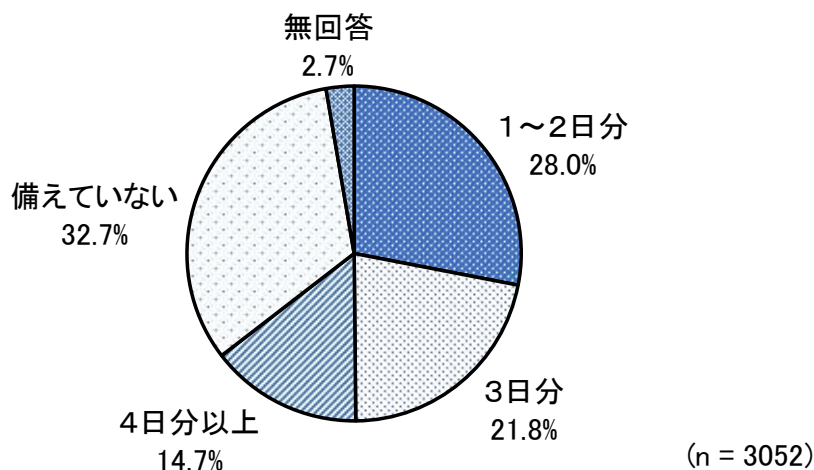
●飲料水

全体では「備えていない」が32.7%と最も高く、次いで「1～2日分」が27.3%、「3日分」が22.3%となっている。



●食料

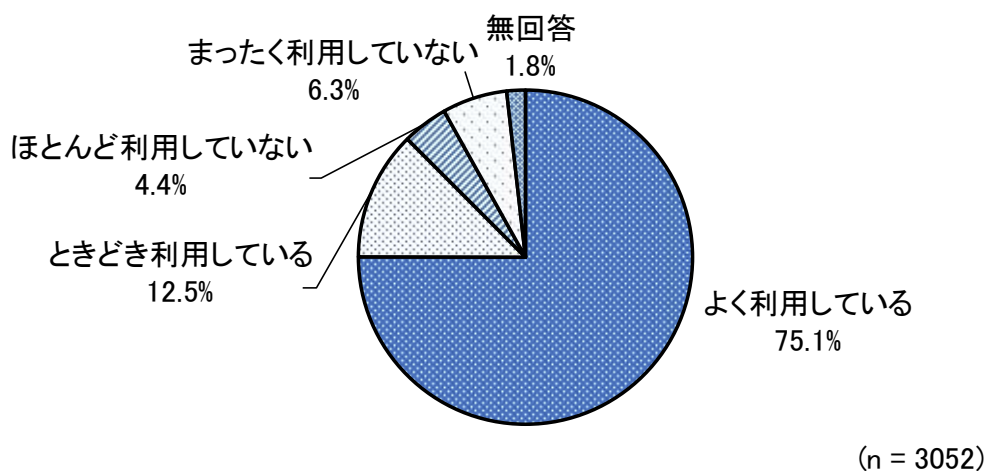
全体では「備えていない」が32.7%と最も高く、次いで「1～2日分」が28.0%、「3日分」が21.8%となっている。



12. 情報化

【問3 5】あなたはスマートフォンやタブレットを利用していますか。（○は1つ）

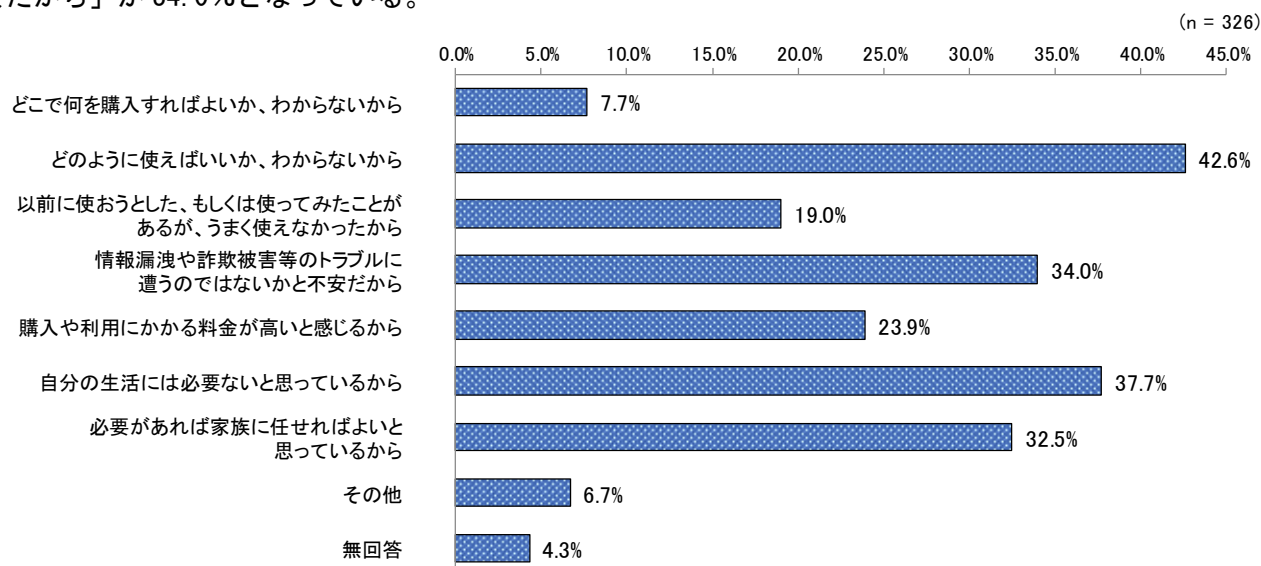
全体では「よく利用している」が75.1%と最も高く、次いで「ときどき利用している」が12.5%、「まったく利用していない」が6.3%となっている。



問35で「ほとんど利用していない」「まったく利用していない」と答えた方へお聞きします。

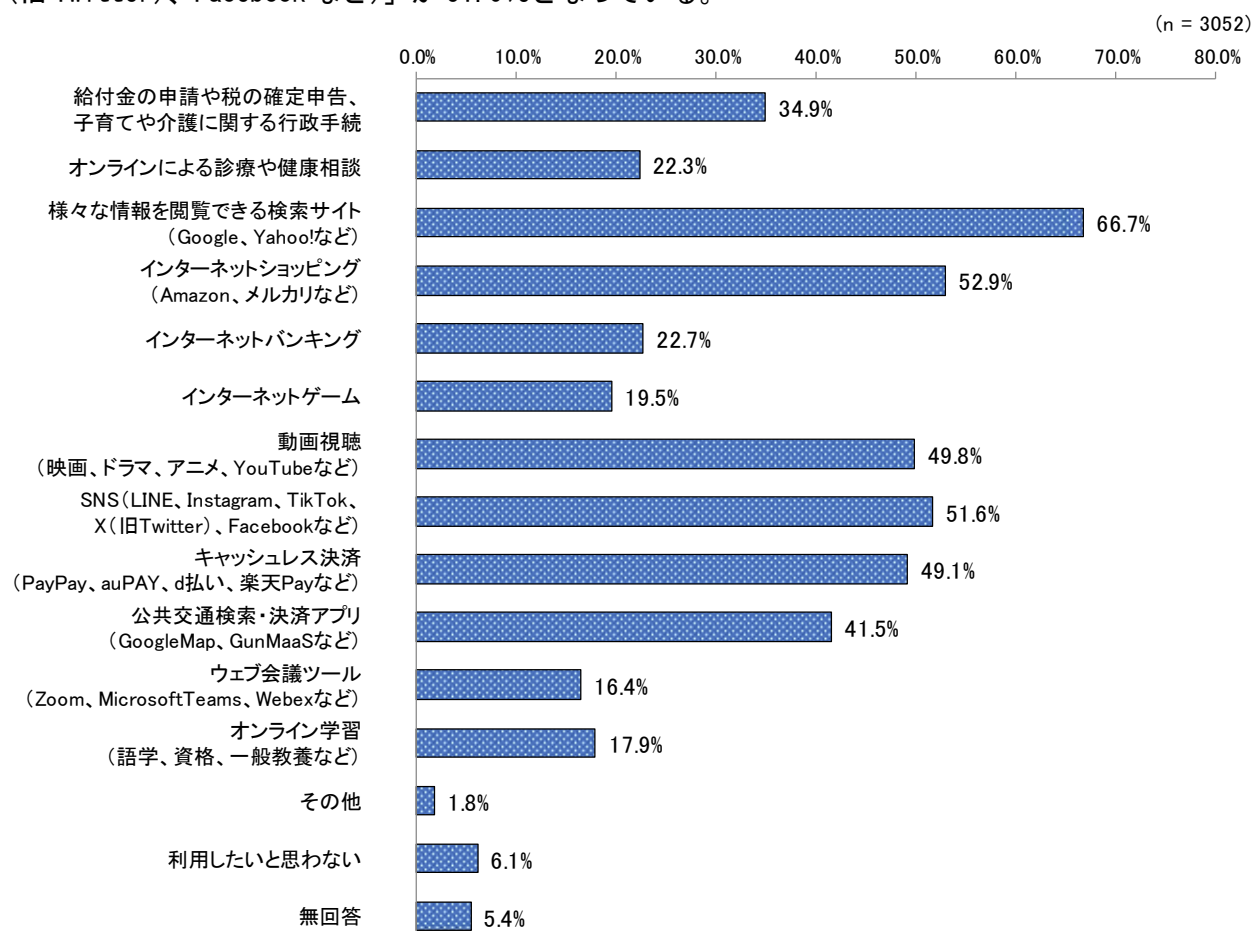
【問35-1】スマートフォンやタブレットを利用していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

全体では「どのように使えばいいか、わからないから」が42.6%と最も高く、次いで「自分の生活には必要ないと思っているから」が37.7%、「情報漏洩や詐欺被害等のトラブルに遭うのではないかと不安だから」が34.0%となっている。



【問36】あなたは、スマートフォンやタブレットを使って、どのようなサービスを利用したいと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

全体では「様々な情報を閲覧できる検索サイト (Google、Yahoo!など)」が66.7%と最も高く、次いで「インターネットショッピング (Amazon、メルカリなど)」が52.9%、「SNS (LINE、Instagram、TikTok、X (旧 Twitter)、Facebook など)」が51.6%となっている。



市民アンケート調査報告書 概要版（第 19 回）

令和 6 年 3 月発行

前橋市 市民部 市民協働課 市民相談提案係